

# 業 務 概 要

—平成29年度のまとめ—

京都府立京都学・歴彩館

	項 目	頁
1	京都学・歴彩館について	1
2	利用者、資料収集・所蔵状況（全体概要）	3
	利用者等の状況	3
	館蔵資料の収集・所蔵状況	4
3	京都学研究推進の主な取組み	5
	海外若手研究員受入事業	5
	陽明文庫デジタル画像の閲覧	6
	文化資源発掘プロジェクトによる共同研究	6
4	展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組	9
5	大・小ホール・学習室について	19
6	京都資料総合閲覧室の利用状況	19
7	館蔵資料の撮影と複写	25
8	資料の貸与	26
9	図書館間相互貸出	29
10	共催事業等	30
11	資料の収集・整理・保存	31
	図書資料	31
	古文書	37
	行政文書	38
	写真資料	39
	文書の保存と複製資料の作成	39
	燻製	40
	管理委託現物資料	40
12	調査	41
	古文書	41
	行政文書	41
13	東寺百合文書	41
14	京都府行政文書修理事業	42
15	図書館実習・インターンシップ	42
16	新聞掲載	42
17	施設の状況	44
18	組織・業務分担・予算	44
19	平成29年度の主な活動	46
20	沿革	49
21	京都学・歴彩館の設置に向けたこれまでの取組（経過）	54



# 1 京都学・歴彩館について

## ○「京都学・歴彩館」とは

京都は日本文化のふるさとであり、京都に関する歴史・文化の研究は、日本文化全体と大きく繋がっている。京都学・歴彩館では、京都や京都との関わりの中で成立・発展してきた特色を研究していくことを京都学にとらえ、これを推進・発信する事で京都文化のさらなる発展を目ざすことを目標としている。

「京都学・歴彩館」の名称については、新たな機能である京都文化の研究推進を「京都学」に込めている。そして、「順を追っていく」、「代々にわたる」といった意味を持つ「歴」と、色どりの美しさを表す「彩」により、文化や歴史の数々が時代を超えて輝きを放ちつづけ、次代へと受け継がれていくことを「歴彩」と表現している。

## ○全面開館へ

京都学・歴彩館の前身である京都府立総合資料館は移転作業のため平成 28 年 9 月 13 日に閉館した。閉館の日には『ありがとう資料館「感謝の集い」』として、ファイナル館内ツアー、ギャラリートーク、コンサートを行った。このうちギャラリートークは「館蔵資料がつなぐ“過去の記憶と未来の創造”」として、職員 4 名による歴彩館への提案と参加者とのディスカッションを行った。

その後、京都府立総合資料館条例を 11 月 30 日に廃止し、京都府立京都学・歴彩館条例が 12 月 1 日から施行された。それに伴い、展示室や大小ホールなど 1 階交流フロアの一部を 12 月 23 日にプレオープンし、資料の閲覧など館の中心的機能である 2 階部分の探究フロアを含めたグランドオープンを平成 29 年 4 月 28 日に迎えることになった。この探究フロアは開館時間が平日は午前 9 時から午後 9 時までと長くなり、京都府立大学並びに府立医科大学の図書も利用できることで使いやすい施設を目指している。

## ○京都学・歴彩館の建物について

建物は府立大学の図書館や文学部研究室も同居する複合施設となっており、先行オープンした 1 階は交流フロアとして展示室や大小ホール、京都学ラウンジなどがあり、新たなにぎわいと交流が生まれることを期待している。2 階は探究フロアとして京都に関する各種図書、資料や大学所蔵図書が閲覧できるよう約 350 席を設けた閲覧室があり、3・4 階は府立大学文学部の研究室、演習室等が設置されている。

探究フロアの京都資料総合閲覧室では、従来別々だった図書資料と古文書や行政文書の閲覧カウンターを一箇所にまとめ、より幅広い情報を提供することができる。また、グループ閲覧室や大型資料の閲覧室を設け、資料を閲覧する環境を整えた。閲覧室にある図書資料は約 2 万冊で、京都の歴史・地理に関する資料や京都府や、府内市町村が発行した資料等を並べている。

### ○京都学・歴彩館の取組等について

京都学・歴彩館の目標は3つあり、まず旧総合資料館でも行なっていた京都に関する図書資料、古文書、行政文書、写真資料など約80万点の収集・保存・公開を進めること、京都所在の膨大な資料のデジタル閲覧を進めることである。2つ目は府内各地域の文化資源を発掘し、府内の大学・研究機関と連携しながら研究を深めること。3つ目は海外の研究者を招聘し、京都文化を研究してもらうこと。この3点を柱として交流を進め、講演会やシンポジウムを通じて、「京都学」を発信していきたいと考えている。

12月の一部オープンから多くのイベントを開催しており、特に京都学の研究については、府内の大学、研究機関との連携及び京都府域の文化資源の発掘を目指し発足した共同研究会の成果報告会である「京都を学ぶセミナー」なども開催している。

今後は、府民の皆さんが研究や調査を進め、その成果を発表したり、交流したりすることが出来るような拠点となっていきたいと考えている。

これまでの旧総合資料館の長い歴史があるとはいえ京都学・歴彩館としてはまだまだこれからである。皆さんがまだ知らない京都の深みを発信できるよう努力していきたい。

京都府立京都学・歴彩館 館長 金田章裕

## 2 利用者、資料収集・所蔵状況（全体概要）

### (1) 利用者等の状況

○1階(交流フロア)、2階(探究フロア)の利用者数等について

(平成29年4月27日※～平成30年3月31日)

事 項	利用者数等	事 項	利用者数等
展示室	14,278人	出納件数	11,164件
京都学ラウンジ	9,046人	書庫の図書資料	9,095件
学習室	44,341人	古文書等	634件
大ホール	9,692人	行政文書	1,435件
小ホール	6,976人	相談件数	10,746件
ホール利用	3,565人	資料の使用	57件
臨時利用	3,411人	(管理委託現物資料含む)	156点
2階 探究フロア (府立大附属図書館含む)	129,578人	資料の利用	104件
		(管理委託現物資料含む)	248点
合計	213,911人	資料の複写	8,806件
			168,510枚
開館日数	305日	資料の館外貸与	45件
一日平均利用者数	701人	(管理委託現物資料含む)	223点(冊)

※京都学・歴彩館は平成29年4月27日にグランドオープン記念事業を開催し、4月28日からグランドオープンした。

(参考)平成29年4月1日～4月26日までの利用者数

[京都学ラウンジ：244人] [大ホール：1,900人] [小ホール：1,289人]

### ○駐車場の利用状況

台数	7,586台
うちサービス台数	2,107台
使用料収入	3,373,500円

※「サービス台数」とは、サービスタイム(15分以内)に出庫した車の台数

(2) 館蔵資料の収集・所蔵状況

資料区分		平成29年度受払状況							累計 (平成30年 3月31日現在)
		受入					払出	計	
		購入	寄贈	取得	保管換 移 管 引渡等	計			
図書資料	図書資料 その他 <sup>※1</sup>	746	2,941	1,532	—	5,219	1	5218	386,853冊 1,728点
	小 計	746	2,941	1,532	—	5,219	1	5,218	388,581(点)
文書資料	古文書 <sup>※2</sup>	—	10,458	59	—	10,517	—	10,517	139,856点
	行政文書	—	—	—	1,666	1,666	—	1,666	91,505点
	写真資料	—	63,029	—	—	63,029	—	63,029	134,672点
	近代文学資料	—	—	—	—	—	—	—	23,788点
	その他 <sup>※3</sup>	—	—	—	—	—	—	—	256点
小 計	0	73,487	59	1,666	75,212	—	75,212	390,077点	
管理委託 <sup>※4</sup> 現物資料	美術工芸資料	—	26	—	—	26	—	26	11,010点
	歴史民俗資料	—	0	—	—	0	—	0	18,942点
	その他 <sup>※5</sup>	—	397	—	—	397	—	397	23,658点
	小 計	0	423	0	0	423	—	423	53,610点
合 計		746	76,851	1,591	1,666	80,854	1	80,853	832,268冊(点)

※1 版木ほか。

※2 古文書の点数は、平成13年度から、詳細目録により算定した数値に変更した。

※3 鳥類はく製、京都府旧公印ほか。(鳥類はく製は京都こども文化会館に貸出中)

※4 管理委託現物資料は、京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託した美術工芸資料等の現物資料である。(管理委託現物資料の一部は、中京区の京都府施設にて收藏)

※5 吉川観方コレクション、江馬務コレクションほか。

### 3 京都学研究推進の主な取組

#### (1) 海外若手研究員受入事業

当館と覚書を締結した国内外の日本文化研究機関から推薦を受けた優秀な外国人若手研究者を選考の上、当館の「京都学研究員」として招へいし、研究支援を行いました。

京都学研究員には、受入期間中、京都研究・日本研究に従事いただくとともに、「府民向けセミナー」においてその研究成果を発表いただきました。

覚書締結機関：計7（海外4・国内3）機関

- ・セインズベリー日本藝術研究所（イギリス）
- ・国立高等研究実習院（フランス）
- ・国立台湾大学文学院日本研究センター（台湾）
- ・南カリフォルニア大学（アメリカ）
- ・京都大学大学院文学研究科
- ・東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻
- ・京都府立大学

京都学研究員（29年度）：4人

氏名	国・地域	専門	研究テーマ	受入期間
楊洋	中国	文学	「花園天皇の学問と宋学」	1/15～2/28
黄馨儀	台湾	社会学	「NHK 朝の連続テレビ小説にみる京都～表象分析及びコンテンツツールのアプローチ～」	1/18～2/20
林瑣禎	台湾	教育学	「京都学における近代日本教育研究～長田新の京大在籍時期を中心として～」	1/22～2/23
ラドウ・レカ	ルーマニア	美術史・地図史	「幕末における磁器上日本地図の意義」	2/13～3/16



## (2) 陽明文庫デジタル画像の閲覧

当館では、平成29年2月5日に締結した公益財団法人陽明文庫及び東京大学史料編纂所との覚書に基づき、公益財団法人陽明文庫の協力により東京大学史料編纂所が作成した、陽明文庫が所蔵する近衛家伝来資料のデジタル画像約5万点の公開を平成29年4月27日から開始しました。

### 29年度閲覧利用の実績

閲覧利用延人数	515 人
閲覧利用資料数	7,288 件
閲覧ページ数	10,118 ページ

(備考：29年4月27日～30年3月31日実績)

## (3) 文化資源発掘プロジェクトによる共同研究

府内大学・研究機関との連携及び京都府域の文化資源発掘を目指し「京都府立京都学・歴史館」プレ事業として平成27年度から開始した「文化資源発掘プロジェクト」では、第一弾の取組として「洛北の文化資源」にスポットをあて、府内大学・研究機関の研究者とともに「京都学研究会」を発足し、共同研究に取り組みました。

当プロジェクトは、初年度に共同研究会を発足して研究を進め、2年目に共同研究会報告書を取りまとめるとともにその成果をもとにした一般書籍を刊行、3年目には各研究者に研究成果を発表いただくセミナーを連続シリーズで開催しています。

29年度においては、『京都を学ぶ【洛北編】』（28年度刊行）の内容を府民にわかりやすくお伝えする「京都を学ぶセミナー【洛北編】」を開催するとともに、「丹波の文化資源」共同研究会（28年度発足）の報告書を取りまとめ、『京都を学ぶ【丹波編】』を30年3月に刊行しました。また、新たに「南山城の文化資源」共同研究会を発足し、研究活動を開始しています。

## 洛北の文化資源共同研究参加メンバー（27～29年度）

（五十音順 敬称略 肩書は平成27年度時）

阿部 健一	総合地球環境学研究所研究高度化支援センター 教授
	文化としての洛北の自然
小出 祐子	京都精華大学デザイン学部 特別研究員
	江戸時代の賀茂別雷神社における造営について
齊藤 準	京都工芸繊維大学工芸科学研究科 准教授
	京都北山のヤマムユ類の活用と生息環境保全
鈴木 久男	京都産業大学文化学部 教授
	京都大原魚山勝林院に関する調査研究
鳥居本 幸代	京都ノートルダム女子大学生活福祉文化学部 教授
	洛北小野の里と尚齒会
中村 治	京都府立大学文学部 共同研究員（大阪府立大学人間社会学部 教授）
	雑煮と納豆餅
東 昇	京都府立大学文学部 准教授
	近世後期における洛北長谷村の生活と領主聖護院・天皇葬送
深町 加津枝	京都大学大学院地球環境学堂 准教授
	自然資源としての農山村におけるササの利用と京都の文化
藤本 仁文	京都府立大学文学部 准教授
	近世社会における賀茂葵信仰
渡邊 秀一	佛教大学歴史学部 教授
	京都洛北地域の景観変化とその時代的創造性—修学院村を中心に—

## 丹波の文化資源共同研究参加メンバー（28～30年度）

（五十音順 敬称略 肩書は平成28年度時）

伊勢 武史	京都大学フィールド科学教育研究センター 准教授
	丹波の森林資源の多面的な役割についての考察
	—生態系サービスの観点から—
井上 一稔	同志社大学文学部 教授
	美山の仏像—平安時代を中心に—
大場 修	京都府立大学大学院生命環境科学研究科 教授
	亀岡市域の街道筋における民家と景観
河原 典史	立命館大学文学部 教授
	保津川下りをめぐる船頭の展開—操船技術の継承—

久保 雅義	京都工芸繊維大学デザイン・建築学系 教授 福知山における鉄道資源（国鉄・JR）の影響について
斉藤 利彦	佛教大学歴史学部 准教授 西田直二郎と京都府史蹟勝地調査会調査—福知山市紫宸殿田楽の映像撮影調査を中心に—
高橋 克壽	花園大学文学部 教授 埴輪からみた丹波の方墳
原 雄一	京都学園大学バイオ環境学部 教授 歩く道をプラットフォームとした地域資源の可視化
矢口 芳生	福知山公立大学地域経営学部 教授 京都丹波蚕糸業の近現代史探訪
山本 浩樹	龍谷大学文学部 教授 明智光秀の丹波支配

### 南山城の文化資源共同研究参加メンバー（29～31年度）

（五十音順 敬称略 肩書は平成29年度時）

上杉 和央	京都府立大学文学部 准教授 南山城地域の文化的景観の基層
香川 貴志	京都教育大学社会科学科 教授 名勝地・笠置の観光をめぐる環境変遷と将来展望
久保 中央	京都府立大学生命環境学部 准教授 南山城のお茶の遺伝的特質の解明
佐伯 俊源	種智院大学人文学部 教授 古代南山城の宗教的環境
島津 良子	京都文教大学 客員研究員 「宇治製茶」製法の誕生と普及—近世南山城茶の江戸販売を手がかりに—
竹門 康弘	京都大学防災研究所水資源環境研究センター 准教授 木津川の自然と利用の文化
山田 邦和	同志社女子大学現代社会学部 教授 不整形プラン都城案による恭仁京復元

#### 4 展示、シンポジウム、講座等、情報発信の取組

##### ◆ 展示

##### ○ 企画展

期 間	名 称	場 所	入場者数
平成29年4月27日(木) ～7月9日(日)	開館記念展示「京都の歴史を彩る ー近代の暮らし・楽しみー」	1階展示室	5,036人
平成29年7月22日(土) ～10月8日(日)	開館記念展示「京都の歴史を彩る 人々ー近代編ー」		3,105人
平成29年10月14日(土) ～12月10日(日)	開館記念展示「池大雅展」		2,702人
平成29年12月16日(土) ～平成30年3月13日(火)	開館記念展示「京の四季風景」		3,435人

##### ○ 常設展等

・ 1階京都学ラウンジ常設展示 吉田初三郎 「京都名所大鳥瞰図」

・ ホワイエ、光庭展示

期 間	場 所	作家・作品名等
平成29年4月27日(木) ～10月10日(火)	ホワイエ	清水九兵衛「Corresponding Space II」 (京都文化財団管理委託資料)
平成29年4月27日(木) ～平成30年4月10日(火)	ホワイエ	富樫実「空にかけける階段'76 VII」 藪内弘「風の序曲」「稚」 (京都文化財団管理委託資料)

・ 1階京都学ラウンジ パネル展示

期 間	名 称	備 考
平成29年4月27日(木) ～6月25日(日)	平成28年度京都府指定・登録 文化財紹介パネル展	府文化財保護課協力
平成29年4月27日(木) ～6月25日(日)	写真展 京都 北山紀行	京都銀行協力
平成29年6月29日(木) ～7月9日(日)	デザインで地域の安心・安全 を考える	下鴨警察署地域課協力

平成29年7月10日(月) ～9月25日(月)	京都府の日本遺産～ちりめん の里 丹後～	府織物・機械金属振興センター協 力
平成29年8月24日(木) ～9月29日(金)	京都府景観資産登録地区	府都市計画課協力
平成29年10月2日(月) ～31日(水)	京都府立大学地域貢献型特別 研究(ACTR)成果展示会	府立大学京都地域未来創造セン ター協力
平成29年11月1日(水) ～30日(木)	京都府の日本遺産～ラッパが 鳴り響く街・舞鶴～	舞鶴市協力
平成29年12月18日(月) ～27日(水) 平成30年2月11日(日) ～28日(水)	京都府の日本遺産～日本茶 800年の歴史散歩～心ふるわ ず茶のかほり (併催)「京都府の茶業」、「続・ 京都府の茶業」の記録 映画放映	府農産課、府企画理事付、府もの づくり振興課、一般社団法人京都 山城地域振興社協力
平成30年1月11日(木) ～31日(水)	伏見酒造業、明治期からの発 展 武家～商人の町で培われ た挑戦と創造の歴史	月桂冠協力
平成30年2月2日(金) ～2月9日(金)	京都府立大学大学院生命環境 科学研究科修士作品(設計作 品)展	府立大学大学院 生命環境科学研 究科協力
平成30年3月1日(木) ～4月10日(火)	舞鶴引揚記念館グランドオー プン!	舞鶴引揚記念館協力

・ 1階ホール前(大ホール前・小ホール北側)パネル展示

期 間	コーナー名
平成29年12月19日(火) ～平成30年1月31日(水)	写真展「洛北の原風景」(写真提供：中村治大阪府立大学教 授)

・ 2階京都資料総合閲覧室前 パネル展示

期 間	コーナー名
平成30年2月1日(木) ～3月13日(火)	海外若手研究員受入事業府民向けセミナー関連

◆ シンポジウム

○ グランドオープン記念シンポジウム

京都学・歴史館グランドオープン記念事業として実施しました。

年月日	内 容	参加者数
平成29年 4月27日(木)	<p>京都学・歴彩館グランドオープン記念シンポジウム 「京都の文化-京都学・歴彩館からの発信-」</p> <p>○基調講演 永青文庫理事長 細川 護熙氏 「歴史の裏話～史料の保存・公開とその意義～」</p> <p>○パネルディスカッション ・国立国会図書館関西館長 片山 信子氏 ・平等院住職 神居 文彰氏 ・元ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院日本研究センター長 シュテファン・カイザー氏 コーディネーター：金田章裕（京都学・歴彩館長）</p>	366人

○ 開館記念展示関連シンポジウム

京都学・歴彩館グランドオープン記念事業として実施しました。

年月日	内 容	参加者数
平成29年 6月11日(日)	<p>京都学・歴彩館開館記念展示関連シンポジウム 「京都の歴史を彩る一幕末から明治へ」</p> <p>○基調講演 国際日本文化研究センター准教授 磯田 道史氏 「幕末維新と京都を語る」</p> <p>○パネルディスカッション ・磯田 道史氏 ・京都市学校歴史博物館学芸員 和崎 光太郎氏 ・(株)虎屋京都管理部文化事業課長 相田 文三氏 コーディネーター：井口和起 福知山公立大学長（京都学・歴彩館顧問）</p>	471人

○ その他シンポジウム

年月日	内 容	場 所	参加者数
平成29年 10月26日(木)	<p>東寺百合文書データミーティング 古文書のデータを使って何ができるのか、 資料を所蔵する機関にはどのようなデータの 公開が求められているのかを議論</p>	歴彩館小ホール	35人
平成30年 3月3日(土)	<p>地域史シンポジウム「丹波のくらしと蚕糸」 綾部・福知山地域において、地域の暮らし に密着してきた養蚕、製糸などをテーマにシ ンポジウムを実施</p>	市民交流プラザ ふくちやま	70人

◆ 講座

○ 明治150年記念リレー講座

平成30年に明治維新から150年の節目を迎えることを記念して実施しました。

年月日	内 容	参加者数
平成30年 1月28日 (日)	第1回「京都の文化再興」 講演 ①甲南大学文学部教授 井野瀬 久美恵氏 「ヨーロッパの万国博覧会と日本」 ②京都府京都文化博物館学芸課長 畑 智子氏 「京都の起死回生－博覧会の時代へ」	200人
平成30年 2月11日 (日・祝)	第2回「京都の産業再興」 講演 ①京都府立大学副学長 宗田 好史氏 「京都の産業革命－琵琶湖疏水とその時代」 ②京都工芸繊維大学副学長 小野 芳朗氏 「琵琶湖疏水建設の経緯とその後の利用」	230人
平成30年 3月4日(日)	第3回「学問の都、京都」 講演 ①京都大学大学文書館教授 西山 伸氏 「「三高」がやってきた－第三高等中学校の京都移転とその後－」 ②京都大学総長 山極 壽一氏 「京都大学の探検と創造の精神」	260人

○ 京都を学ぶセミナー「洛北編」

平成27年度に国際京都学プレ事業として行った「洛北の文化資源」研究プロジェクトの成果を分かりやすく解説する「京都を学ぶセミナー【洛北編】」を昨年度に引き続き7回開催しました。

年月日	内 容	参加者数
平成29年 5月30日 (金)	<第4回> 講演 京都工芸繊維大学応用生物学系准教授 齊藤 準氏 「虫の眼から眺める洛北の里山～ヤママユを中心に～」	62人
平成29年 6月27日 (火)	<第5回> 講演 京都大学大学院地球環境学堂准教授 深町 加津枝氏 「笹とミヤコの伝統文化」	80人

平成29年 7月18日 (火)	<第6回> 講演 京都精華大学特別研究員 小出 祐子氏 「上賀茂神社の江戸時代②受け継がれてきた境内の建築」	120人
平成29年 9月8日(金)	<第7回> 講演 佛教大学歴史学部教授 渡邊 秀一氏 「近代修学院地区の歴史的風景の創出」	140人
平成29年 10月24日 (火)	<第8回> 講演 京都府立大学文学部准教授 東 昇氏 「江戸時代の岩倉長谷村と聖護院・天皇」	135人
平成29年 11月21日 (火)	<第9回> 講演 京都ノートルダム女子大学生生活福祉文化学部教授 鳥居本 幸代氏 「平安貴族別業の里 小野」	121人
平成29年 12月19日 (火)	<第10回> 講演 大阪府立大学人間社会学部教授 中村 治氏 「洛北のお正月－雑煮と納豆餅－」	158人

○ 海外若手研究員受入事業 府民向けセミナー

海外から招へいた日本研究・京都研究の優秀な若手研究員による府民向けセミナーを開催しました。

年月日	内容	参加者数
平成30年 2月16日 (金)	<第1回> 発表 ①林琪禎（リンキテイ） 「帝国大の教育像－昭和前期の国民学校のめざすものとは－」 ②黄馨儀（コウケイギ） 「世界に羽ばたく日本文化－台湾での朝ドラ放送及び受容を中心－」 ③楊洋（ヨウヨウ） 「中世帝王学の革新－『花園天皇宸記』－」	40人
平成30年 3月9日 (日)	<第2回> 発表 ラドウ・レカ 「愛国主義の具体化？幕末日本の地図皿」	30人



○ 第1回禁裏・公家文化講座

科学研究費補助金（基盤研究（S））「天皇家・公家文庫収蔵史料の高度利用化と日本目録学の進展—知の体系の構造伝来の解明」との合同主催で実施しました。

年月日	内 容	参加者数
平成29年 11月26日 (日)	<第1講>専門家向け 講演 東京大学史料編纂所准教授 藤原 重雄氏 「史料編纂所蔵の14世紀公家日記」	20人
平成30年 1月21日 (日)	<第2講>一般向け ○講演 ① 宮内庁京都事務所長 詫間 直樹氏 「内裏と仙洞御所の変遷」 ② 東京大学大学院工学研究科教授 藤井 恵介氏 「平安京と御所と貴族住宅」 ○座談会 「禁裏・公家文庫収蔵資料のデジタル画像公開の進展と新たな研究の可能性」 ・公益財団法人陽明文庫常務理事・文庫長 名和 修氏 ・詫間 直樹氏 ・藤井 恵介氏 ・京都学・歴彩館長 金田 章裕 ・東京大学史料編纂所長 山家 浩樹氏 ・東京大学史料編纂所教授 尾上 陽介氏 司会：東京大学史料編纂所教授 田島 公氏	400人
平成30年 3月11日 (日)	<第3講>専門家向け 講演 東京大学史料編纂所准教授 松澤 克行氏 「近世公家の生活と文化」	80人

○ 京都学ラウンジミニ講座

毎週木曜日に京都学ラウンジにて、当館職員等が講師を務めるミニ講座を開催しました。

年月日	内 容	講 師	参加者数
平成29年7月6日、 13日、20日、27日	江戸時代の屋根葺き材	副館長(京都学推進課長) 平井 俊行	33人
平成29年8月3日、 10日、24日、31日	嵯峨の江戸時代～天龍寺門 前・境内の世界～	京都学推進課主事 山田 淳平	57人

平成29年9月14日	桂川の河道と上桂荘	館長 金田 章裕	63人
平成29年9月7日、 21日、28日	京都で発生した江戸時代の 災害	京都学推進課嘱託 大邑 潤三	73人
平成29年10月5日	禪林寺阿弥陀堂について	副館長(京都学推進課長) 平井 俊行	30人
平成29年10月12 日、19日、26日、 11月2日	日記を書く貴族たちー平安 貴族の日常を垣間見るー	京都学推進課主事 吉岡 直人	122人
平成29年11月9日、 16日、30日、12月7 日	墨匠・古梅園と京都	京都学推進課嘱託 的場 美帆	84人
平成29年12月21 日、平成30年1月11 日、18日、25日	府立大学共催特別企画 ①京都市の街路樹 緑の道 ②京都市の庭 無鄰庵の庭 明治の新しい庭園の形 ① 明治期お雇い外国人ガ ウランドの古墳調査 ④京都市の緑地 緑の量を みる	①京都府立大学学術研 究員 瀬古 祥子氏 (京都市動物園職員) ②京都府立大学大学院 准教授 福井 亘氏 ③京都府立大学共同研 究員 ルーク・エジン トン=ブラウン氏 ④京都府立大学大学院 博士前期課程1回生 山口 史絵氏	144人
平成30年2月1日、8 日、15日、22日	明治150年記念ー建築編 ー	副館長(京都学推進課長) 平井 俊行	92人
平成30年3月1日、8 日、15日、22日	地方紙と業界紙で探る戦後 京都のプロ野球事情～太陽 ロビンスを中心として～	資料課主査 若林 正博	88人
平成30年3月29日	京都盆地南部における近代 治水事業と明治18年水害	京都学推進課嘱託 大邑 潤三	25人

○ 寺子屋講座

京都府立大学文学部歴史学科の教員・学生と連携して寺子屋講座を開催しました。

年月日	内容	参加者数
平成29年11月26日(日)	京都の歴史を歩こう！～五条界限編～	20人

○ 古文書ヨル学会—入門編—

当館が所蔵する古文書や絵図等をテキストとして、くずし字の読み方などを解説する初心者向けの古文書解読講座を、社会人や学生も参加しやすいよう夜間の時間帯(18時から19時)に開催しました。

年月日	参加者数
平成29年12月 6日 (水)	15人
平成29年12月20日 (水)	13人
平成30年 1月17日 (水)	5人
平成30年 2月 7日 (水)	19人
平成30年 3月 7日 (水)	20人

○ 資料に親しむ会

年月日	内 容	参加者数
平成29年12月12日 (火)	京菓子図案帖に親しむ—京菓子図案と小西大東—	11人
平成30年 1月16日 (火)	小袖雛形本に親しむ	6人
平成30年 2月13日 (火)	吉田初三郎に親しむ ぶらり伊勢編	14人
平成30年 3月13日 (火)	古写真に親しむ～黒川翠山撮影写真資料を中心に～	12人
平成30年 3月27日 (火)	閲覧室に親しむ 歴彩館に来て、本を見て、触って、POP を作って紹介しよう!	7人

○ 館外での講座

年月日	演題・講師	会場等	参加者数
平成29年 8月27日(日)	戦前にみる乙訓の鉄道計画 若林 正博 (当館職員)	主催:乙訓地名詩編集「チ ーム乙訓」 バンビオ(長岡京市)	36人

平成29年 9月1日(金)	京都の写真家 黒川翠山生誕150年 大塚 活美(当館職員)	主催：便利堂 便利堂コロタイプギャラリー	28人
平成29年 10月31日 (火)	新京阪山科線・京阪六地蔵線～行政文書から探る戦前の鉄道計画 若林 正博(当館職員)	主催：京阪電気鉄道工務部 京都タワーホテル9階	100人
平成29年 11月23日 (木)	行政文書から探る昭和初期の鉄道計画～久御山町域を中心として～ 若林 正博(当館職員)	主催：久御山町 旧山田家住宅(久御山町)	23人

#### ◆ 資料紹介コーナー

京都府施策に関連するものや社会的に話題になった事柄をテーマに、所蔵資料を紹介するコーナーを設置し、利用者の注目を集めました。

期 間	資料紹介コーナー名	関連事業	リスト 配布数
平成29年7月22日(土) ～10月10日(火)	京都の歴史を彩る人々	当館展覧会	100枚
平成29年10月12日(木) ～12月12日(火)	池大雅	当館展覧会	500枚
平成29年12月14日(木) ～平成30年3月13日(火)	京の四季風景	当館展覧会	360枚
平成30年2月1日(木) ～3月13日(火)	海外若手研究員受入事業府民向けセミナー [発表者4人のテーマに応じた関連資料の紹介]	当館主催セミナー	270枚
平成30年2月2日(金) ～3月13日(火)	天橋立	世界遺産登録	240枚
平成30年3月15日(木) ～6月12日(火)	「堂本印象美術館リニューアルオープン記念」関連資料の紹介	堂本印象美術館主催展覧会	850枚
平成30年1月5日(金) ～4月10日(火)	「明治150年」リレー講座	当館主催講座	2,000枚

- 加えて、「金田館長の著作コーナー」「京都を学ぶセミナー 洛北編」「京都検定」といったミニコーナーを設けました。また、閲覧室書架に資料紹介POPを展示したり、資料紹介POPを使ったクリスマスツリーなどのデコレーションをしました。

#### ◆ 「統計京都」の表紙への資料写真掲載

京都府が毎月発行する「統計京都」の表紙に、当館が所蔵する資料の写真を掲載しました。(平成29、30年度掲載予定)

巻号	テーマ	出典資料
4月号	京都府庁	黒川翠山撮影写真資料
5月号	宇治の茶摘み	都名所図会
6月号	西陣織	都名所図会
7月号	河合納涼	拾遺都名所図会
8月号	保津川下り	黒川翠山撮影写真資料
9月号	天橋立	吉田初三郎
10月号	第四回内国勲業博覧会	第四回内国勲業博覧会平安神社大極殿之図
11月号	東福寺通天橋	淀川兩岸一覽
12月号	四条大橋	黒川翠山撮影写真資料
1月号	百人一首	百人一首〔像賛〕
2月号	壬生菜	拾遺都名所図会
3月号	嵐山の花見	都名所図会

◆ 資料ガイドの執筆(京の記憶アーカイブに掲載)

1	京都名所五十景	4月1日
2	やすらい祭	4月9日
3	丹波国世木から山城国嵯峨までの大堰川筋絵図について	5月26日
4	祇園祭 放下鉢稚児、久世駒形稚児	6月23日
5	黒川翠山の初期の写真	7月27日
6	「ヒーロー」「サンライズ」の文字看板	8月31日
7	ずいき御輿	9月22日
8	保津川下り	10月18日
9	鴨川運河の曳き舟と鴨川鉄橋	11月22日
10	「大雅堂」から「池大雅美術館」	12月11日
11	黒川翠山の絵はがき写真	1月5日
12	四条大橋と京阪電車	1月11日
13	堀川通松原付近を流れる堀川の風景	2月5日
14	大礼御建物一件	2月19日
15	黒川翠山の松島・日光の写真	3月9日

## 5 大・小ホール・学習室について

### ア 大・小ホール

今年度大ホール利用者数は11,592人、小ホールの利用者数は8,265人（臨時学習室としての利用を含む）でした。

### イ 学習室について

84席の自習室については、今年度の利用者数は44,341人。臨時利用として小ホールを自習室として開放し、利用者は3,411人でした。

年月	開館日数	学習室	大ホール	小ホール	
					臨時学習室
29年4月	21日	80人	2,380人	1,529人	0人
5月	27日	2,210人	0人	62人	0人
6月	29日	2,450人	1,186人	306人	0人
7月	29日	3,395人	120人	239人	218人
8月	29日	4,399人	0人	23人	737人
9月	27日	3,286人	1,172人	0人	197人
10月	29日	4,261人	630人	258人	351人
11月	27日	5,050人	886人	540人	435人
12月	25日	4,912人	1,256人	331人	354人
1月	25日	4,549人	1,283人	188人	195人
2月	26日	5,283人	1,029人	436人	609人
3月	29日	4,466人	1,650人	942人	315人
計	323日	44,341人	11,592人	4,854人	3,411人

## 6 京都資料総合閲覧室の利用状況

京都に関する専門的な調査研究のための閲覧室（207席）で、グランドオープンから、利用時間を9時から21時まで（土日は17時まで）と大幅に延長しています。開架図書約2万冊を自由に利用できるほか、書庫内の図書資料、古文書、行政文書などが利用できます。

本年度の利用者数は129,578人でした。

(1) 京都資料総合閲覧室の利用状況

年月	開館日数	利用者数 (月単位)	出納の状況							
			図書(書庫資料)		古文書		行政文書		合計	
			件数	冊数	件数	点数	件数	点数	件数	点(冊)数
29年 4月	3	1,777 (592.3)	92	753	9	42	30	122	131	917
5月	27	12,975 (480.6)	867	4,501	53	279	120	556	1,040	5,336
6月	29	14,152 (488.0)	761	3,784	86	776	119	697	966	5,257
7月	29	15,479 (533.8)	831	4,024	65	462	120	546	1,016	5,032
8月	29	11,544 (398.1)	894	4,259	60	550	116	522	1,070	5,331
9月	27	7,908 (292.9)	803	3,565	39	290	142	678	984	4,533
10月	29	10,920 (376.6)	812	3,962	59	373	154	649	1,025	4,984
11月	27	11,344 (420.1)	883	4,479	40	347	122	691	1,045	5,517
12月	25	10,926 (437.0)	868	4,622	66	1,113	182	1,026	1,116	6,761
30年 1月	25	12,319 (492.8)	841	4,099	69	667	117	515	1,027	5,281
2月	26	11,613 (446.7)	721	3,668	38	402	105	484	864	4,554
3月	29	8,621 (297.3)	722	3,819	50	414	108	630	880	4,863
合計 (1日あたり)	305	129,578 (424.9)	9,095 (29.8)	45,535 (149.3)	634 (2.1)	5,715 (18.7)	1,435 (4.7)	7,116 (23.3)	11,164 (36.6)	58,366 (191.3)

(2) 資料に関する相談状況

所蔵資料の有効な利用を図るため、資料の利用案内や調査・研究の支援等の相談業務を実施しています。京都資料総合閲覧室カウンターでの相談のほか、電話・文書等による相談にも応じています。

ア 月別相談件数

	口頭	電話	文書	合計
29年4月	160	42	4	206
5月	1,123	142	12	1,277
6月	940	159	22	1,121
7月	789	164	28	981
8月	860	154	17	1,031
9月	705	180	22	907
10月	682	158	12	852
11月	738	144	9	891
12月	670	130	23	823
30年1月	748	168	17	933
2月	667	146	15	828
3月	740	141	15	896
合計	8,822	1,728	196	10,746

イ 相談内容別の状況

	口頭	電話	文書	計
館利用案内	3,755	675	26	4,456
複写依頼	2,251	134	21	2,406
特定図書在所蔵調査	1,646	551	36	2,233
図書に関する書誌的調査	100	29	5	134
人名・地名等の読み方調査	91	11	3	105
人物・団体調査	115	33	13	161
内容調査	546	173	87	806
その他	318	122	5	445
計	8,822	1,728	196	10,746

ウ 相談事例

○京都府画学校の教授を勤めた画家「深田直城」(ふかだ ちよくじょう)について知りたい。本名、生年月日、出身地、他にも何かわかる資料があれば見たい。

【回答】

『日本名画家伝：物故篇』のpp.176-177、『近代日本美術事典』のp.302から、1861年(文久元年)7月14日近江国膳所町(現大津市)出身、本名は正孝、四条派の画家であることが分かった。



京都府画学校の後身である京都市立芸術大学の『百年史：京都市立芸術大学』の p. 26 と p. 177 に深田直城の名が掲載されており、明治 13 年 9 月 22 日に出仕したとの記述がある。

○寛政 9 (1797) 年 10 月 29 日に二条城で起きた金蔵破り事件が本当にあった事件なのか確認したい。

【回答】

『二条城(週刊名城をゆく)』の p. 16 に二条城の金蔵破りに関する記述がある。『近世事件史年表』の寛政 9 年の項 (p. 165) にも「二条城 金蔵破り」の記事があり、その出典として『梅翁隨筆』と『寛政紀聞』が記されていた。『梅翁隨筆』は『見聞雜記：2 (史料京都見聞記：5)』に、『寛政紀聞』は『未刊隨筆百種：2』に掲載されている。

○一力亭の建物、構造等について書かれた資料、写真はないか。

【回答】

『京都大事典』の p. 49 によると、一力亭は東山区祇園町南側(四条花見小路角)にあるお茶屋で、古い格式のある「赤前垂れ」の店とされる。

『京都府の近代和風建築：京都府近代和風建築総合調査報告書』の pp. 552-554 に一力亭の建物の調査結果があり、内部の写真や平面図、構造が収録されている。また、花街の茶屋建築に関しては『京の花街：ひと・わざ・まち』の pp. 175-178 にも収録されている。その他に一力亭の写真は、『京都五花街：祇園甲部 宮川町 先斗町 上七軒 祇園東』の p. 9 と p. 19、『祇園：祇園新橋 花見小路通』の pp. 22-23、『祇園：粋な遊びの世界』の pp. 28-29 にある。

○明治初期の木造の京都府庁舎の写真が見たい。

【回答】

『京都府この 100 年：世紀をむすんでひらく展覧会』の p. 12 に、「府庁舎百年のあゆみ」と、木造の京都府庁舎の写真が小さいながらも載っている。「府庁舎百年のあゆみ」によると、利用者の求める「明治初期の木造の京都府庁舎」とは、現在の府庁の敷地にかつて存在した京都府中学校の建物であることが分かった。京都府庁は、京都府中学校の建物を約 15 年間使用しており、現在の京都府庁旧館の竣工は明治 37 年である。

当館の写真コレクションのひとつである「京都府庁旧館創建時等写真資料」に、「旧京都府庁式場」など木造の京都府庁の写真が収録されている。これらは「京の記憶アーカイブ」で画像を確認できる。

○京都サンガの前身のサッカークラブである「京都紫光サッカークラブ（紫光クラブ）」について知りたい。

【回答】

『めざせJリーグ!京都パープルサンガ』の pp. 21-32 に、第1章「伝統と栄光の紫光クラブ」がある。その p. 21 によると、「紫光クラブとは、現在の京都教育大学の前身である京都府師範学校のOBによって大正11年に創設された、日本でいちばん古い歴史を持つサッカークラブチームである」とのことである。

『京都府体育協会史』の pp. 327-331 に、京都でのサッカーの歴史の記載があり、そのなかにも紫光クラブの記述がある。

○京都市右京区京北地域で、昔から納豆を食べていたことがわかる資料はないか。また、京北地域には、納豆が出てくる子守唄もあるそうだが、それについても知りたい。

【回答】

『京都を学ぶ：文化資源を発掘する：洛北編』の pp. 200-217 に、中村治「雑煮と納豆餅」という章があり、そのうち pp. 209-210 に「納豆と京北」という節があった。そこでは、南北朝の政争の犠牲となって出家した光厳上皇(1313-1364)が、常照皇寺で修行していた際に、村人から藁に包んだ煮豆を献上されたこと、それを毎日少しずつ食べていたところ、残った煮豆が糸を引き始め、これを食べたのが納豆のはじまりであるという京北における納豆誕生の伝説が紹介されていた。p. 213 には、「納豆餅」が登場する京北地域に伝わる子守唄も掲載されている。

なお、東北や関東地方でも、前九年の役と後三年の役における源義家に関わる納豆誕生伝説があることが紹介されている。また、納豆が文献上登場するのは、『薩戒記』等の15世紀からで、特に「糸引き納豆」であることが確実にわかる記述は、『御湯殿上日記』の文明9年(1477年)にあるとされている。

○田村光峰という図案家の経歴や活動当時の評価が分かる資料はないか。

【回答】

『染織図案変遷史』の p. 165 に、田村光峰の当時の住所、生年月(明治36(1903)年6月生)、出身画塾(田村春暁画塾)、略歴、得意分野等が記載されている。

田村の図案資料である『長閑雅録』に、江馬務(風俗研究所長)による序文があり、同書の出版経緯と田村光峰の評価が書かれている。

『図案家さんのはじまりともろもろのこと』pp. 63-88 に「京都を中心とした図案家団体」が掲載されている。そこで紹介されていた青年図案人連盟による図録等を調べたところ、国立国会図書館デジタルコレクションで公開されている『青年図案人連盟展覧会図案：1』、『青年図案人連盟展覧会図案：2』、『青年図案人連盟展覧

会図案：4』の会員名簿に田村光峰の名と作品があった。青年図案人連盟とは、『図案家さんのはじまりともろもろのこと』の pp. 68-70 や『京友禅』（染織新報社刊）の p. 64 によると、昭和 6（1931）年 9 月に図案界の若手作家の糾合を呼びかけ意匠図案の社会的評価と服飾テキスタイル文化の発展のために創設された団体である。

※国立国会図書館デジタルコレクションで公開されている資料は、資料により公開レベルが異なります。『青年図案人聯盟展覧会図案』は当館の 2 階閲覧室にてご覧いただけます。

\* 上記も含め当館で受け付けた相談事例の詳細は、  
[https://www.archives.kyoto.jp/?page\\_id=2278](https://www.archives.kyoto.jp/?page_id=2278) で御覧いただけます。

#### エ 古文書相談

古文書相談は、古文書の解説、整理・保存等についての相談に、面会や郵送等に対応するものです。今年度はカウンターで随時対応したほか、手紙・メール等で 38 件の相談がありました。

#### オ 国会図書館デジタル化資料送信サービスの実施

平成 27 年 11 月 12 日から、国立国会図書館の提供するデジタル化資料送信サービスを開始しました。

利用申込件数	143
複写申込件数	96
複写枚数	1,887

#### (3) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、調査研究のため特に必要な場合、特別観覧に供しています。

本年度は、合計 4 件、4 点の特別観覧がありましたが、詳細は次のとおりです。

申請者の区分	部門	資料名	点数
個人	染織	「水干」	1
個人	染織	「袴 茶麻地菱紋付」	1
個人	考古	「銅鐸」	1
個人	日本画	今尾景年「四季花鳥図扇面帖」	1

## 7 館蔵資料の撮影と複写

### (1) 使用及び利用

館蔵資料を調査研究、出版等に使用するため、撮影等を行う場合の使用申請と、出版物への掲載等を行う場合の利用申請は次のとおりでした。

資料種別	使用		利用	
	件数	冊(点)数	件数	冊(点)
図書資料	12	22	35	62
図書・雑誌	8	12	24	34
古典籍	4	10	11	28
文書資料	22	76	46	128
古文書	13	51	18	47
行政文書	9	25	23	49
写真資料	0	0	0	0
近代文学資料	0	0	5	32
管理委託現物資料	23	58	23	58
合計	57	156	104	248

### (2) 行政文書の自写の状況

2,113点 101,569枚

#### 複写状況 (H29. 4. 28~H30. 3. 31)

複写種別		合計	
		件数	枚数
電子式複写	白黒	8,806	154,401
	カラー		6,669
(撮影)			—
画像プリント			2,327
マイクロデータプリンター			3,227
国会図書館デジタル送信資料用端末による印刷	白黒		1,877
	カラー		9
合計		8,806件	168,510枚

※撮影は、複写枚数に含まない。

## 8 資料の貸与

本年度は、次のとおり、合計 21件（一部重複あり）、155点の貸与を行いました。

### (1) 図書資料

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	京都府京都文化博物館 総合展示・京の至宝と文化 「近代京都の大津絵-小川千壺「西洋風俗大津絵」を中心に-」	黙語圖案集 大津絵	1 2
2	京都府京都文化博物館 総合展示・京の至宝と文化 「京都の画家と考古学-太田喜二郎と濱田耕作-」	國華 162, 197, 199, 457, 525 号	5

### (2) 古典籍

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	茶道資料館 平成29年秋季特別展「仏教儀礼と茶-仙薬からはじまった-」	西宮記 公事根源 雲圖鈔 権記	5
2	大山崎町歴史資料館 第25回企画展「千利休とその周辺」	都林泉名勝図会	1
3	京セラ美術館 2017年秋季特別展「維新の夜明け～鳥羽伏見の戦い150年記念展」	淀川合戦見聞奇談 淀川兩岸一覽 討幕軍錦切	4

### (3) 古文書

	貸与先及び展覧会等の名称	資料名	点数
1	滋賀県立安土城考古博物館 開館25周年記念・平成29年春季特別展「信長のプロフィール」	東寺百合文書	5
2	石川県立美術館 石川県文化財保存修復工房設立20周年「文化財の保存と修復 —過去・現在・そして未来へ—」	東寺百合文書	12
3	香川県立ミュージアム 特別展「讃岐びと、時代を動かす—地方豪族が見た古代世界—」	東寺百合文書	4
4	文化庁 「禅定寺文書」のうち、現在重要文化財に指定されていない部分の追加指定に向けた調査	禅定寺文書	7

5	群馬県立歴史博物館 第95回企画展「織田信長と上野国」	革嶋家文書	3
6	京都市歴史資料館 企画展「鷹山ふたたび—祇園祭鷹山復興支援展—」(前期)	三条衣棚町文書	15
7	京都市歴史資料館 企画展「鷹山ふたたび—祇園祭鷹山復興支援展—」(後期)	三条衣棚町文書	11
8	敦賀市立博物館 平成29年度特別展「敦賀湊と北前船交易」	最上屋喜八家文書	12
9	高槻市立しろあと歴史館 高槻市立しろあと歴史館・高槻市立今城塚古代歴史館 高槻築城400年記念合同特別展「天下泰平と高槻城」	城郭図	1
10	安城市歴史博物館 特別展「陰陽師 安倍晴明」	若杉家文書	9
11	京都府立山城郷土資料館 特別展「茶どころ南山城—茶園景観と歴史—」	新谷家文書	2
12	京都文化博物館 平成29年度総合展示「保存と修理の文化史」	東寺百合文書	12

(4) 行政文書

	貸与先及び展覧会の名称・会期	資料名	点数
1	京都府立山城郷土資料館 特別展「茶どころ南山城—茶園景観と歴史—」	童仙房開拓一件ほか	4
2	向日市文化資料館 特別展「乙訓郡誌の編纂とその時代」	京都府寺誌稿ほか	8

(5) 写真資料

	貸与先及び展覧会の名称・会期	資料名	点数
1	便利堂コロタイプギャラリー 夏季企画展「生誕 135 年記念 黒川翠山の京都」	黒川翠山撮影写真資料 絵葉書、賞状、肖像写真等	16

(6) 近代文学資料

	貸与先及び展覧会の名称・会期	資料名	点数
1	神奈川県立神奈川近代文学館 特別展「生誕 140 年 与謝野晶子展」	天眠文庫関係資料 与謝野寛書簡、与謝野晶子書簡・原稿・画	16

(7) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に管理委託している美術工芸資料等の現物資料については、合計24件(68点)の貸与を行いました。貸与先等は次のとおりです。

	貸与先	展覧会の目的	部門	資料名
1	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接待のため(アメリカ合衆国副大統領ほか)	日本画	野々村良樹「緑映」
2	浜松市秋野不矩美術館	展覧会「日本画こころの京都百選」に出品のため	日本画	秋野不矩「平安神宮」ほか 全4点
3	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接待のため(エジプト代議員議長ほか)	日本画	野々村良樹「緑映」
4	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業庁内展示のため	日本画	幸野豊一「大田の社若」ほか 全7点
5	内閣府迎賓館京都事務所	貴賓接待のため(チェコ共和国首相)	日本画	野々村良樹「緑映」
6	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示のため	日本画	石原貴暉「丹波路の駅(八木)」ほか 全7点
7	北海道立旭川美術館	展覧会「上村松園・松篁・淳之展」に出展のため	日本画	上村淳之「啼く」
8	京都国立博物館、静岡市美術館、読売新聞東京本社	展覧会「没後 150 年坂本龍馬」に出品のため	歴史	「坂本龍馬書簡集」ほか 全2点
9	サントリー美術館	展覧会「天下を治めた絵師 狩野元信」に出品のため	日本画	狩野元信「紫馬図絵馬」
10	静岡県立美術館	展覧会「美しき庭園画の世界」に出品のため	日本画	池大雅「高士訪隠図屏風」ほか 全4点
11	南丹市文化博物館	展覧会「麻田浩展～小さな絵の世界～」に出展のため	洋画	麻田浩「北山杉」
12	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	展覧会「第40回記念琳派百図展」に出品のため	日本画	「尾形光琳筆風神雷神図屏風・酒井抱一筆夏秋草図屏風複製」
13	茨城県立近代美術館天心記念五浦分館	展覧会「開館20周年記念 龍を描く」に出品のため	日本画	源琦「双龍図押絵貼屏風」ほか 全2点
14	岐阜県現代陶芸美術館	展覧会「1964証言-現代国際陶芸展の衝撃」に出品のため	陶磁器	井上治男「風神花瓶」ほか 全2点
15	久米美術館	展覧会「(仮)美術工芸の半世紀 明治の万国博覧会Ⅲ」に出品のため	陶磁器	三代清風与平「青華磁牡丹唐花鳥文花瓶」
16	埼玉県立歴史と民俗の博物館	展覧会「明治天皇と氷川神社-行幸の奇跡-」に出品のため	日本画	伝浮田一蕙「祐宮像」
17	京都府文化スポーツ部文化芸術振興課	府民ギャラリー事業二役室展示のため	日本画	岩沢重夫「比叡雪月花」ほか 全7点
18	泉屋博古館	展覧会「木島櫻谷-近代動物画の冒険」に出品のため	日本画	木島櫻谷「初夏・晩秋」ほか 全2点

19	中信美術館	展覧会「第30回 京都美術文化賞受賞記念展」に出品のため	日本画	箱崎睦昌「宇治上神社」ほか 全2点
20	ふくやま美術館	展覧会「日本画モダニスト堂本印賞と門下の精鋭たち展」に出展のため	日本画	三輪毘勢「木屋町の家」
21	東京藝術大学大学美術館	展覧会「東西美人画の名作（序の舞）への系譜」に出品のため	日本画	幸野樸嶺「魯秋潔婦図」ほか 全3点
22	大阪市立美術館	展覧会「江戸の戯画-鳥羽絵から北斎・国芳・暁斎まで」に出品のため	日本画	安達真速「鳥獸戯画模写」ほか 全2点
23	京都国立博物館	展覧会「池大雅-天衣無縫の旅の画家-」に出品のため	日本画	池大雅「柳下童子図屏風」ほか 全11点
24	京都国立近代美術館	展覧会「明治 150 年展 明治の日本画と工芸」に出品のため	日本画	岸竹堂「糸桜に小禽図」ほか 全 3 点

## 9 図書館間相互貸出

### (1) 府内公共図書館等

平成4年7月に開始した府内の公共図書館等との図書相互貸借については、21館、81冊の貸出し、3館、7冊の借受けを行いました。明細は次のとおりです。

(なお、5月11日から再開しましたので、それ以前の相互貸借は行っていません)

貸借先館名	貸出冊数	借受冊数	貸借先館名	貸出冊数	借受冊数
京都府立図書館	13	5	木津川市立加茂図書館	2	-
京都市中央図書館	3	1	南山城村図書室	3	-
京都市右京中央図書館	3	-	亀岡市立図書館中央館	1	-
京都市醍醐中央図書館	3	-	南丹市立中央図書館	5	-
京都市下京図書館	1	-	南丹市日吉図書室	2	-
京都市洛西図書館	1	-	綾部市図書館	6	-
向日市立図書館	1	-	福知山市立図書館夜久野分館	1	-
長岡京市立図書館	9	-	舞鶴市立東図書館	2	-
宇治市中央図書館	4	1	京都学園大図書館	5	-
八幡市立八幡市民図書館	6	-	京都大学付属図書館	1	-
木津川市立中央図書館	9	-			
			計	81	7

### (2) 国立国会図書館

昭和61年7月から国立国会図書館所蔵図書の借受け・閲覧サービスを行っていますが、平成29年度の借受利用は、2件、2冊でした。



## 10 共催事業等

○ 府立大学の資料講読等の授業、演習や見学を当館にて実施し、古文書原本の閲覧や解説作業をしていただきました。

受入年月日	受入大学名	内 容	受入学生数
5月16日(火)	京都府立大学	授 業	17人
6月6日(金)			17人
6月13日(火)			17人
7月4日(火)			17人
7月11日(火)			17人
		古文書演習	50人
7月21日(金)		古文書見学	43人
平成30年1月12日(金)		古文書見学	43人
1月23日(火)		古文書演習	45人

### ○ 講座・研究会等

当館を会場にしての共催事業として次のものがありました。

事業名	年月日	主催	参加者数
アーカイブカレッジ 短期コース	平成29年11月13日(月) ～18日(土)	国文学研究資料館	40人
東寺文書研究会	平成29年12月9日(土)、 10日(日)	東寺文書研究会 京都学・歴彩館	51人
国際ワークショップ 「日本の古地図ポータルサイト」	平成30年3月5日(月)	立命館大学文学部地 理学教室	21人

### ○ 京都学・歴彩館ゼミ

京都府立大学、京都府立医科大学及び京都工芸繊維大学が設置する京都三大学教養教育研究・推進機構と連携した新規科目「リベラルアーツ・ゼミナールー京都学・歴彩館ゼミ」を開講しました。当館が所蔵する資料の価値や、利用・調査方法を講義しました。  
(期間：平成29年度後期(15回)、受講者：13人)

○ 「京都新聞」(毎月第三土曜日朝刊、教育面)に、歴彩館所蔵の古典籍を紹介するコラム「遊びをせんとや」を連載。(府立大学教員と共同執筆)

平成29年	5月20日	「遊びをせんとや 87」	中将基綱節
	7月15日	「遊びをせんとや 89」	祇園御本地
	11月16日	「遊びをせんとや 93」	仏国歴象編

2月17日	「遊びをせんとや 96」	般若心経和訓図会
3月17日	「遊びをせんとや 97」	The illustrated exhibitor

## 1.1 資料の収集・整理・保存

当館では、京都に関する資料等を総合的に収集・整理・保存していますが、資料の種類と内容は次のとおりです。

- ・ 図書資料
  - 図書、逐次刊行物、パンフレット等の印刷物(写本、原稿、書簡、写真、マイクロフィルム等を含む。)及びこれに準ずる資料
- ・ 古文書
- ・ 行政文書
- ・ 写真資料
- ・ 近代文学資料
- ・ 管理委託現物資料

### (1) 図書資料

本年度に収集した資料冊数は、次のとおりです。

区分	購入(冊)	寄贈(冊)	取得等(冊)	計(冊)	
京都資料	253	1,179	708	2,140	
京都に関連するその他の資料(歴史、美術、宗教等)	263	989	79	1,331	
官庁資料	京都関係	69	606	667	1,342
	国・他府県	161	167	78	406
合計	746	2,941	1,532	5,219	

### ア 歴史・地誌

書名	著編者等
モダン京都：「遊楽」の空間文化誌	加藤政洋編
近世の山科山科の近世：京都近郊天皇領の記録	中山清著
未刊「乙訓郡誌」稿 地理篇 歴史篇 文化篇 史料篇	[向日市文化資料館]、河北印刷編
峠越え：西の鯖街道	小畑登著 小畑正彦編
長岡京市の史跡を訪ねて：緑豊かな自然と文化のまち 総改訂版	長岡京市ふるさとガイドの会編集
写真展よみがえる明治の日本：特別展	宇治市歴史資料館編

<p>京都を学ぶ：文化資源を発掘する 丹波編  名所と聖地に秘められた高低差の謎（京都の凸凹  (Dekoboko) を歩く：2）  考古図録（京都大学総合博物館収蔵資料目録：第3号）  古文書料紙論叢  「司馬遼太郎」で学ぶ日本史（NHK 出版新書：517）  朝廷儀礼の文化史：節会を中心として  日本全国合成地名の事典  日本古代の氏族と系譜伝承  藤原道長事典：御堂関白記からみる貴族社会  室町幕府將軍列伝  広辞苑はなぜ生まれたか：新村出の生きた軌跡</p>	<p>京都学研究会編  梅林秀行著  京都大学総合博物館編  湯山賢一編  磯田道史著  近藤好和著  浅井建爾著  鈴木正信著  大津透，池田尚隆編  榎原雅治，清水克行編  新村恭著</p>
---	---

イ 宗教

書名	著編者等
<p>北野天満宮史料 宮仕記録続7  高雄山神護寺文書集成  修験道聖護院史要覧  中世後期泉涌寺の研究  本願寺蓮如の研究 上  新編白隠禪師年譜  近世嵯峨清凉寺の空間構造 境内・地域・出開帳  “遣わされて”来た人西田天香  宗教年鑑 平成28年版  三国伝来仏の教えを味わう インド・中国・日本の  仏教と「食」（臨川選書：35）  室町期顕密寺院の研究  新纂浄土宗大辞典</p>	<p>北野天満宮史料刊行会編  坂本亮太，末柄豊，村井祐樹編  首藤善樹著  大谷由香著  小泉義博著  芳澤勝弘編著  高田舜〔著〕  村田正喜著  文化庁編  安永祖堂，松田隆行編  西尾知己著  浄土宗大辞典編纂実行委員会編集</p>

ウ 芸術

書名	著編者等

醍醐寺の仏像：醍醐寺叢書 研究篇

伝統色で楽しむ日本のくらし：京都老舗絵具店・上羽絵惣の色名帖

国展創立前夜：大正前期の京都の日本画

並河靖之七宝 明治七宝の誘惑—透明な黒の感性

黒田辰秋：京の至宝

愚のごとく、然りげなく、生るほどに：福本繁樹作品集

平安絵巻の素敵な切り絵：みやびなひととき

松花堂昭乗、書画のたのしみ：麗しき筆あと、愛らしき布袋

京都現代写真作家展：京都写真ビエンナーレ

京都三十三間堂通し矢列伝：弓道の心と歴史を紐解く

剣道・伝説の京都大会(昭和)：徳江正之写真集

京都府の山(分県登山ガイド：25)

京響と仲間たち：京都市交響楽団ガイドブック

舞鶴赤煉瓦ジャズ祭 20年のあゆみ：1991-2010

京都西陣：うたを紡ぐ

わたしの一句：句集

俳句 de 散歩：京都五七五

俳人五仲庵有節

枕草子のたくらみ：「春はあけぼの」に秘められた思い

美術作品レファレンス事典 日本の風景篇

運慶大全

運慶：興福寺中金堂再建記念特別展

長谷川等伯展：天才絵仏師、みやこを目指す!：平成29年度春期特別展

海北友松：京都国立博物館開館120周年記念特別展覧会

素テルヲの生涯：生誕130年

Urushi ふしぎ物語：人と漆の12000年史

副島弘道編

石田結実監修

笠岡市立竹喬美術館編集

樋田豊郎 [ほか] 執筆

imura art planning 編

福本繁樹著

望月めぐみ著

八幡市立松花堂庭園・美術館編集

京都府

高柳憲昭著

徳江正之著

木之下繁、内田嘉弘、大槻雅弘、津田美也子著

淡交社編集局編

馬場英男編著

本郷住枝短歌：水野克比古写真

福知山温泉、ホテルロイヤルヒル福知山 & スパ [編]

第五の会編

矢羽勝幸著

山本淳子著

日外アソシエーツ株式会社編集

山本勉監修

東京国立博物館、法相宗大本山興福寺、朝日新聞社編

七尾美術財団編

京都国立博物館、毎日新聞社編

星野桂三、星野万美子編集制作

人間文化研究機構国立歴史民俗博物館編

日本の色手鑑	紫紅社編 吉岡幸雄, 福田伝士, 染司よしおか染色・製作
日本の表装	岩崎奈緒子, 森道彦編
煎茶の工芸 : その人と技	日本煎茶工芸協会編集
日本の音篠笛事始め	森田玲著
図説日本の文字	今野真二著
生きてこそ	瀬戸内寂聴著

## エ 社会・産業

書名	著編者等
宮島田舎暮らし読本 創立 70 周年記念誌	南丹市地域おこし協力隊編 京都府立須知高等学校創立記念事業実行 委員会編集
平安女学院大学の奇跡	山岡景一郎著
オモニがうたう竹田の子守唄	山根実紀著
巨椋池蓮図鑑	京都花蓮研究会[編]
ときめく花図鑑	中村文文 水野克比古写真 多田多恵子 監修
ツシマヤマネコ飼育員物語: 動物園から野生復帰を めざして	キムファン著
はたらく柴田部長	和詩倶楽部編
お坊さんのいる病院	あそかピハラー病院編
重要文化財(建造物)旧日本銀行京都支店耐震対策 工事報告書	建築研究協会編著
Diploma×Kyoto: 京都建築学生之会合同卒業設計 展'17	京都建築学生之会編
吉岡徳仁: 光庵: ガラスの茶室	吉岡徳仁監修/志村ふくみ, 黒沢綾子執筆 二川幸夫企画・撮影/隈研吾文
天上の庭: 京都御所・仙洞御所・修学院離宮・桂離宮	
お斎レシピ: 京都・東本願寺: みんなでおいしい 精進料理	大原千鶴著
川魚料理 300 年-京料理控え-MINOKICHI	佐竹力総著
緒方: 野趣と料理	緒方俊郎著
宇治茶大好き	京都府茶協同組合企画
事業実績報告書 平成 27 年度	宇治茶の郷づくり協議会[編]

<p>海軍割烹術参考書 [復刻版]          京大カレー部スパイス活動          京近江の豪商列伝          京都の習わしそして人とつなぐもの：ジェイアール京都伊勢丹開店二十周年：暖簾を継ぐ功者のインタビューBook          魚仲卸を天職にした男：京都市中央卸売市場で66年          ジビエハンターガイドブック：おいしく食べるために狩りをする！シカ編          boot な金物店主嘆きの100選          セガ vs. 任天堂：ゲームの未来を変えた覇権戦争 上下          ブラジャーで勲章をもらった男          牛車で行こう！：平安貴族と乗り物文化          ねてもさめてもとくし丸：移動スーパーここにあり          人と植物の文化史          栗の文化史          石と造園100話 正統          図説日本服飾史事典          地域の足を支えるコミュニティーバス・デマンド交通          クルマを捨ててこそ地方は甦る</p>	<p>赤煉瓦倶楽部舞鶴，舞鶴市編          石崎楓著          京都新聞社編著          ジェイアール京都伊勢丹          池本周三著          堀内忠正，林利栄子著          古川勝也著          ブレイク・J・ハリス著 仲達志訳          西田清美著          京楽真帆子著          水口美穂著          国立歴史民俗博物館，青木隆浩編          有岡利幸著          小林章著          増田美子編          堀内重人著          藤井聡著</p>
--	--

オ 参考図書

書名	著編者等
<p>京都国立博物館 120年のあゆみ          福知山市文化協会創立 70周年記念誌：二〇一六          参考図書解説目録 2014-2016          仕事に役立つ専門紙・業界紙          イェール大学所蔵日本関連資料：研究と目録          Q&amp;Aで学ぶ図書館の著作権基礎知識 第4版          図書館等のためのわかりやすい資料提供ガイドライン</p>	<p>京都国立博物館編集          福知山市文化協会刊          日外アソシエーツ編集部編          吉井潤著          東京大学史料編纂所編          黒沢節男著          図書館等のためのわかりやすい資料提供ガイドライン作成委員会編</p>

カ 官庁資料

区分	書名	著編者等
京都関係	<p>木津川市公共施設等総合管理計画 ちかいつ：「ハートのまち」移住定住プロジェクト たんたんターン：京都府北部UIターンプロジェクト</p> <p>第2次京丹後市総合計画「基本計画」：市民と地域がキラリと「光り輝くまち」 与謝野町洪水・土砂災害ハザードマップ 第2版 第2次南丹市健康増進・食育推進計画 宮津市男女共同参画基本計画：ウインドプラン2017 八丁平の自然：京都市北域の高層湿原と生きものたちの営み 相楽郡広域事務組合大谷処理場長寿命化総合計画 八幡市駅前整備等観光まちづくり構想 第2期京都文化芸術都市創生計画：平成29(2017)年4月-平成39(2027)年3月</p> <p>関西広域連合第3期広域計画 公益財団法人京都府国際センター設立20周年記念誌 未来につなぐエシカル消費 きょうとの上位認証：福祉職場の人材確保・育成事例</p> <p>普段使いの京都ちーびずカタログ 1～4</p> <p>第40回全国青樹祭：開催の記録</p> <p>京都:re-search報告書 2016</p>	<p>木津川市総務部財政課 宇治田原町総務部企画財政課 京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会 京丹後市</p> <p>[与謝野町] 南丹市市民福祉部保健医療課 宮津市 京都市産業観光局農林振興室 林業振興課 相楽郡広域事務組合 [編] 八幡市 京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化芸術企画課 [編]</p> <p>関西広域連合本部事務局 [編] [京都府国際センター] 京都府消費生活安全センター 京都府健康福祉部介護・地域福祉課 京都府商工労働観光部地域カ ビジネス課(京都府ソーシャ ル・ビジネスセンター)編 第40回全国青樹祭京都府実行委員会 [編] 京都府文化スポーツ部文化交流事業課</p>
国	<p>国会便覧 平成29年8月新版～平成30年2月新版 賃金センサス：賃金構造基本統計調査 平成28年(平成29年版) 第1～5巻 牛乳乳製品統計 平成28年</p> <p>数字でみる鉄道 2017年版 「若者の結婚観・子育て観等に関する調査」報告書</p> <p>道路統計年報 2017 貸切バスの安全確保対策に関する行政評価・監視結果報告書 テレビ・ラジオ番組個人視聴率調査全国結果表 2017年6月、2017年11月 国立登山研修所50年の歩み</p> <p>婚姻に関する統計 平成28年度(人口動態統計特殊報告) 統計でみる都道府県のすがた 2017</p>	<p>廣済堂出版 厚生労働省統計情報部編</p> <p>農林水産省大臣官房統計部編集 国土交通省鉄道局監修 国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター編 国土交通省道路局企画課編 総務省行政評価局</p> <p>NHK放送文化研究所世論調査部</p> <p>国立登山研修所50周年記念誌 編集委員会編集 厚生労働省大臣官房統計情報部編集 総務省統計局編集</p>

## キ 古典籍

資料名	著編者等
祇園六街歌妓名譜園のはな 京都大佛三十三間堂矢数年代記 鴨東従松原至仁王門通 御上洛御用掛御供奉御役人附 風説慶應大功記：初篇 Miako[by Montanus] 浄家寺鑑	竹原好兵衛ほか版 有馬屋藤兵衛写  出雲寺萬次郎ほか版 池田東園関  森本迪菴著

## ク 雑誌・新聞等

京都関係、日本の歴史、美術工芸、伝統的芸能、官庁関係等の雑誌類及び新聞類を次のとおり収集し、所蔵しています。

区 分	総 数	継続購入数	継続寄贈・取得数
京 都 関 係	3,358	4	961
一般(歴史・美術・官庁等)	2,958	90	745
京 都 官 庁 関 係	856	—	282
計	7,172	94	1,988

## (2) 古文書

### ア 収集した資料

文書群名 (資料名)	形 態	目録 点数	資料概要 (地域)	資料概要 (年代)	資料概要 (内容/特記)
旧京都府立総合資料館収蔵中世文書	古 文 書	59	京都市 ほか	暦 応 4 年 (1341)～延 宝2年(1674)	総合資料館書庫に長年保管されていた中世文書群で、東寺関係のほか京都に関わる文書も多く含まれる。
西五辻北町町会文書	古 文 書	7	京都市上京区	嘉 永 7 年 (1854)～大 正 13 (1924)	西五辻北町に伝わる文書で、印鑑帳・寺請状・地券台帳などの資料が残されている。
大國家文書	古 文 書	740	京都市、奈良市	慶長9(1604) ～ 昭 和 25 (1950)	大國家は禁裏に勤める傍ら京都周辺の村々の雨乞い祈禱等に携わった陰陽師の家柄で、宮中行事の記録や陰陽師の活動に関する資料が含まれる。



松岡家文書	古文書	9,687	木津川市加茂	延宝7(1679)～昭和45(1970)	松岡家は藤堂藩(伊勢・伊賀)の士分に準ずる上層農民で、相楽郡観音寺村の庄屋役に関わる近世文書、水力発電事業に関する近代文書等が多数残されている。
立川家文書	古文書	24	京都市	慶応4年(1868)～明治6年(1873)	京都府独自の士族統轄組織である「間・比」制度のなかで比長を務めた立川家に伝来した、触留・行幸関係の文書。

### イ 整理・保存

文書群名(資料名)	形態	目録点数	備考
新出中世文書	古文書	59	終了・公開
西五辻家文書	古文書	7	終了・公開
大國家文書	古文書	740	終了・公開
松岡家文書	古文書	9,687	終了・公開
立川家文書	古文書	24	終了・公開

### (3) 行政文書

#### ア 収集

「京都府文書の保管、保存等に関する規程」第15条により永年保存文書の移管を、また、同規程第14条により有期限保存文書の引渡しを受けています。

本年度は、以下のとおり1,666点の行政文書を収集しました。

永年保存文書の移管	
完結年度	点数
平成3年度	1,431
過年度分(昭和26年度～平成2年度)	184
合計	1,615

有期限保存文書の引渡し	
完結年度	点数
平成18年度	18
平成8年度外	33
合計	51

#### イ 整理

平成29年度に移管を受けた永年保存文書については、目録の作成、請求番号の付与、書架への配架等を行い公開するとともに、所蔵する有期限文書についても目録の作成等により公開の準備を進めています。

文書の区分	作成目録	点数
永年保存文書（平成29年度移管分）	簿冊目録	1,615
永年保存文書（大5-18-追1）「大正大礼御建物一件」	簿冊目録	1
永年保存文書（大5-18-追1）「大正大礼御建物一件」	件名目録	234

#### ウ 移動

「京都府文書の保管・保存等に関する規定」に基づき引渡しを受け、旧周山保健所庁舎の行政文書文書庫で保管していた約1,300箱の行政文書を、平成30年2月27日、3月27日の2回に分けて、新館の公文書収蔵庫に移動しました。

#### (4) 写真資料

##### ア 収集

本年度は、近藤豊撮影写真資料（第二次）62,966点、高山寛旧蔵写真資料32点、黒川武男旧蔵写真資料31点の63,029点を収集しました。

##### イ 整理・保存

本年度は、高山寛旧蔵写真資料32点、黒川武男旧蔵写真資料31点の63点の目録を作成しました。

#### (5) 文書の保存と複製資料の作成

##### ア 資料の保護

傷みの激しい文書や酸性劣化の恐れのある文書を中性紙の封筒及び専用保存箱に収納したり、データ化することにより代替物での閲覧提供を可能とすることで、文書の更なる損傷を予防するとともに、データのバックアップを行い、資料の安全な保存に努めました。

##### イ 複製資料の状況

資料区分	平成29年度収集			累 計(平成30年3月31日現在)		
	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)	文書群数	マイクロフィルム (リール数)	写真帳 (冊数)
古文書	—	—	—	556	1,388	2,205
行政文書	—	—	—	9	0	917
合 計	—	—	—	565	1,388	3,122

#### ウ デジタル化資料

本年度末時点での、デジタル化資料のインターネット公開状況は、次のとおりです。

データベース名	画像データ	公開時期
東寺百合文書WEB	約1.9万コマ	平成26年 3月～
京の記憶アーカイブ		
図書資料	約37.3万コマ	平成27年11月～
古文書	約2.1万コマ	
写真資料	約7.8万コマ	
美術工芸品他	約0.8万コマ	
行政文書	約3.3万コマ	

(平成30年3月31日現在)

(6) 燻蒸

本年度は、平成28年度から平成29年度に寄贈を受けた古文書、古典籍、美術・工芸品等について、平成29年10月、30年2月の2回、燻蒸を行いました。

(7) 管理委託現物資料

京都府京都文化博物館を運営する公益財団法人京都文化財団に業務委託して収集した美術工芸資料等は12件423点で、明細は次のとおりです。

部門	資料名	点数	区分	寄贈者名
美術 工芸 資料	日本画 仏画 一括ほか	5	寄贈	小川 三郎
	その他 総本家 若狭屋 見本帖ほか	9	寄贈	高濱 元夫
	日本画 氣(黄山)ほか	3	寄贈	町田 泰宣
	日本画 和漢古名家縮写ほか	2	寄贈	岡田 毅
	日本画 軍鶏	1	寄贈	須藤 敏浩
	日本画 吉田菘村関係資料「今尾塾絵画展覧会作品集」ほか	4	寄贈	伊藤 寿康
	陶芸 白磁花瓶 ほか	2	寄贈	北後 豊子
	日本画 福自天来 ほか	5	寄贈	星野 桂三
	その他 「太古島田」ほか	388	寄贈	森村 哲男
	日本画 京都の日本画とかな書による百人一首屏風	1	寄贈	上村 淳之
	日本画 沼宴 ほか	2	寄贈	山崎 隆夫
	陶芸 初代宇野宗壺 「鯉置物」	1	寄贈	川上 力三
合計	12件 423点			

## 1 2 調査

本年度、調査した文書は次のとおりです。

### (1) 古文書

調査名	調査先	期 間	関連地域	概 要
所蔵資料概要調査	個人	平成29年 6月28日	京田辺市三山木	家蔵古文書の概要と 保存方法等について の相談への助言
所蔵資料概要調査	個人	平成29年 10月17日 他	京都市中京区	家蔵古文書の調査、 寄贈に向けての協議

### (2) 行政文書

京都府文書の保管・保存等に関する規程に基づき、各課(室)から総務調整課に引き継がれた文書の内、保存期限が経過した有期限保存文書(平成8年度完結20年保存、平成18年度完結10年保存等)2,773点から51点を選別しました。

また、各課共用書庫に保管された平成23年度完結5年保存文書の内、保存年数が経過して廃棄対象となった有期限保存文書を調査しましたが、選別収集する文書はありませんでした。

## 1 3 東寺百合文書

### (1) シンポジウム(再掲)

#### ○ 東寺百合文書データミーティング

古文書のデータを使って何ができるのか、資料を所蔵する機関にはどのようなデータの公開が求められているのかを議論しました。

### (2) 百合通信の発行

東寺百合文書をより分かりやすく紹介し、親しみを持ってもらうため、「百合通信」12~13号を発行しました。

### (3) 百合百話の公開(東寺百合文書WEBに掲載)

64	平成29年4月 4日	新見荘直務代官 祐清の悲願と「たまかき書状」 山本琢
65	4月17日	漢文ワークショップで東寺百合文書がテキストに取り上げられました
66	5月 1日	古文書の書風・書体と執筆姿勢 宮崎肇氏(東京大学史料編纂所特任研究員/早稲田大学非常勤講師)
67	6月 1日	新見荘を歩く その1 一支配の拠点はどこ? 鍛冶利雄

68	6月22日	新見荘を歩く その2 -三日市庭と二日市庭-	鍛冶利雄
69	7月20日	新見荘を歩く その3 -祐清ゆりの地-	鍛冶利雄
70	8月4日	百合文書を作ってみよう!その1 (ペーパークラフト編) 伊藤実矩	
71	8月21日	百合文書を作ってみよう!その2 (ミニ掛け軸編) 伊藤実矩	
72	10月30日	教王護国寺文書に見える御土居の資料 大塚活美	
73	平成30年1月22日	東寺百合文書の「織田信長禁制」	大塚活美
74	2月20日	悲願の16年 後七日御修法	鍛冶利雄

## 14 京都府行政文書修理事業

平成14年に都道府県行政文書として初めて国の重要文化財に指定された「京都府行政文書」(京都府立庁前年(慶応3年)から昭和21年度までの15,407点)について、適切な保存と積極的な利・活用を図るため、損傷等の修理を行いました。

今年度は明治・大正期の資料12点の修理を行ったほか、108点の資料に経常的な手当を行いました。

## 15 図書館実習・インターンシップ

### (1) 図書館実習

同志社大学学生 平成29年8月29日～9月1日(4日間) 2人

### (2) インターンシップ

今年度の受入はありませんでした。

## 16 新聞掲載

年月日	新聞名	見出し
平成29年 4月11日	京都新聞	若冲の美 ドレスに鮮烈
4月14日	産経新聞	京都府立京都学・歴彩館 28日グランドオープン
4月28日	朝日新聞	京都学・歴彩館 きょう全面開館 左京、文献・資料94万点
	産経新聞	きょうグランドオープン「府立京都学・歴彩館」で式典
	京都新聞	陽明文庫デジタル画 鮮明 歴彩館 きょう開館
5月7日	毎日新聞	史料保存の意識強調 歴彩館でシンポ 細川元首相が講演
5月9日	毎日新聞	資料で見る京の返還 左京「歴彩館」開館記念展示 7月9日まで
5月20日	京都新聞	遊びをせんとや87・中将基綱飾

5月24日	京都新聞	京の近代化資料つぶさに 左京・歴彩館 本格オープン記念企画展
5月26日	京都新聞	近世から近代 京の変化考察 歴彩館で11日シンポ
6月14日	京都新聞	花壇と時計塔で憩いを 京の団体・京都学・歴彩館に寄贈
	産経新聞	四季の花壇と時計塔完成 国際ソロプチミスト京都が寄贈
6月17日	朝日新聞	京都復興の願い 目安箱に
7月15日	京都新聞	遊びをせんとや89 祇園御本地
7月28日	毎日新聞	近代京都の礎築く 10月まで左京 歴彩館で記念展
	京都新聞	府立歴彩館と海外4機関覚書 京都学発信 若手招聘へ
8月29日	産経新聞	京都学・歴彩館 海外の若手研究者受け入れへ 世界に京都文化広げて
	読売新聞	歴彩館、若手海外研究員招き支援 仏英など5機関と覚書
9月2日	京都新聞	京の近代化彩る34人紹介 北垣国道の日記など展示
9月8日	京都新聞	夢幻軌道を歩く⑩新京阪洛西線
9月13日	京都新聞	京都の歴史・文化気軽に学んで 交流スペースでミニ講座
11月16日	京都新聞	池大雅展 京都府立京都学・歴彩館
	京都新聞	遊びをせんとや93・仏国曆象編
11月30日	京都新聞 山城版	久御山町久御山アカデミー
12月3日	産経新聞	海外の4人を受け入れ 京都学・歴彩館
12月12日	読売新聞	保存と変化、両立を 京の新景観政策施行10年
12月21日	京都新聞	府立歴彩館の海外若手招聘事業 京都学研究員4人採用
12月22日	京都新聞	期待される古典への関心の高まり
平成30年	洛南	久御山町久御山アカデミー
1月1日	タイムス	
1月22日	京都新聞	史料の電子化 意義考察 (禁裏・公家文化講座)
1月30日	毎日新聞	内裏の変遷 つぶさに (禁裏・公家文化講座)
2月3日	京都新聞	ソフィア京都新聞文化会議592回 京のロビンスプロ野球史に
2月5日	読売新聞	史料デジタル化 期待感 歴彩館 シンポ
2月9日	読売新聞	京都学・歴彩館 海外若手研究員受入事業府民向けセミナー第1回
2月15日	京都新聞	海外若手研究員セミナー あすから 歴彩館で成果報告
2月17日	京都新聞	遊びをせんとや96・般若心経和訓図会
3月5日	両丹日日	地域史シンポジウム
3月6日	京都新聞 丹後・中丹版	地域史シンポジウム
3月17日	京都新聞	遊びをせんとや97・The illustrated exhibitor

## 17 施設の状況

○平成29年3月31日現在（京都学・歴彩館）

敷地面積	116,932.79 m <sup>2</sup>	
建物面積	6,716.04 m <sup>2</sup>	延 23,940.68 m <sup>2</sup>
建設費	約100億円	
構造	鉄骨造 地上4階 地下2階	

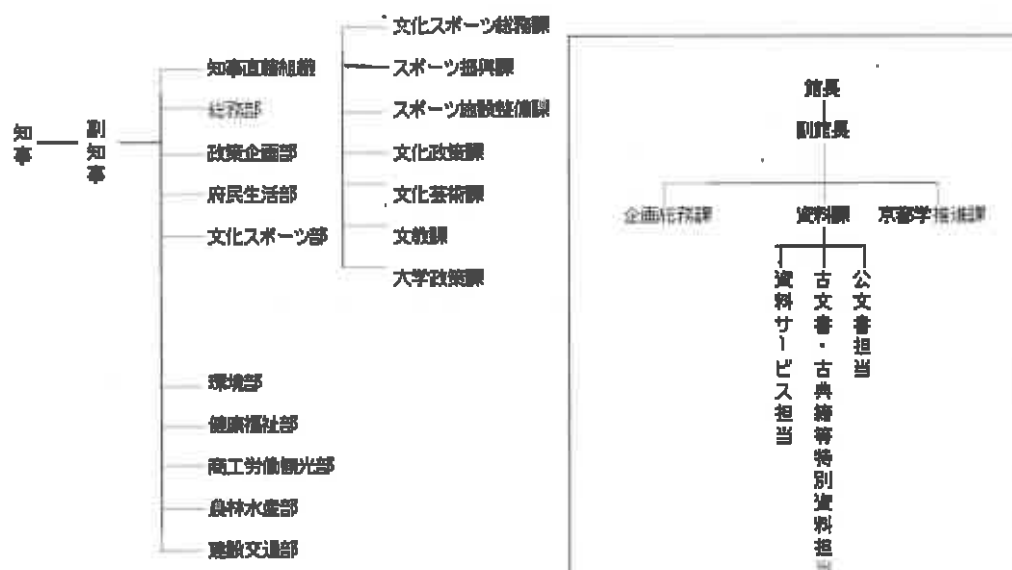
### 主要室の規模

1 階		2 階		地下1階		地下2階	
学習室	160 m <sup>2</sup>	図書閲覧室	1,259 m <sup>2</sup>	書庫・収蔵庫	3447 m <sup>2</sup>	書庫・収蔵庫	3517 m <sup>2</sup>
展示室	290 m <sup>2</sup>	(開架書庫含)					
大ホール	511 m <sup>2</sup>	府大閲覧室	2,012 m <sup>2</sup>	撮影室	73 m <sup>2</sup>		
小ホール	199 m <sup>2</sup>	(書庫含)					
京都学 ラウンジ	151 m <sup>2</sup>						
京都学研究室	142 m <sup>2</sup>						
府大書庫等	177 m <sup>2</sup>						

## 18 組織・業務分担・予算

### (1) 組織

○平成30年6月1日現在（京都学・歴彩館）



## (2) 職員数

○平成30年6月1日現在（京都学・歴彩館）

	職 員（再任用を含む）	嘱 託
館 長	1	-
顧 問	-	1
副館長	2	-
企画総務課	8[※1]	4
資料課	26	20[※3]
京都学推進課	4[※2]	2
計	42	21

※1.2 副館長は企画総務課長事務取扱・京都学推進課長事務取扱であり、※の数に課長は含まない。

※3 府大受託分を含む

## (3) 業務分担

○平成30年6月1日から

### (7) 企画総務課

- 1 館運営等に関する事。
- 2 館発信事業の推進等に関する事。
- 3 人事、服務、給与及び勤務条件等に関する事。
- 4 連絡調整に関する事。
- 5 予算、決算及び会計事務に関する事。
- 6 備品及び物品の調達及び保管に関する事。
- 7 財産の管理及び庁舎の管理に関する事。
- 8 （公財）京都文化財団への業務委託等に関する事。
- 9 その他庶務及び他課の所管に属さないこと
- 10 保安業務に関する事。

### (4) 資料課

- 1 各種資料の調査・選別・収入並びに整理・保存に関する事。
- 2 各種資料の閲覧、利用及びレファレンスに関する事。
- 3 各種資料の普及並びに他機関等との連携に関する事。
- 4 担当業務の総括及び関係機関との連絡調整に関する事。



(ウ) 京都学推進課

- 1 京都の歴史や文化に関する研究の推進に関すること。
- 2 府内の大学等との連携による府域の文化資源の共同研究に関すること。
- 3 国内外の大学等との連携による研究交流及び研究支援に関すること。
- 4 海外の若手研究者の招聘及び研究支援に関すること。
- 5 京都資料のデジタル閲覧に関すること。
- 6 各種講座、シンポジウム、セミナー等の開催に関すること。
- 7 府内自治体との共同による府域の文化の紹介に関すること。

(4) 予算状況（平成30年度当初予算）

（単位：千円）

区 分	予算額	説 明
一般活動費(京都学・歴彩館)	200,439	一般管理運営に要する経費
文化資料収集展示事業費	58,400	美術・工芸、伝統産業の現物資料の保存・展示
重要文化財京都府行政文書修理事業費	7,200	京都府行政文書の修理・補修費用
京都学・歴彩館統合情報システム整備費	45,531	所蔵資料の検索を容易にする統合情報システムの構築等
国際京都学活動推進事業費	17,000	京都の歴史、文化に関するフォーラム等を実施し、国内外の大学や研究機関との研究ネットワークを構築
京都学・歴彩館展示室運営事業費	5,310	美術工芸品や貴重な文書資料等の優品を展示室において展示
明治150年京都記念事業費	4,000	東京遷都による京都衰退の危機を乗り越え、京都府の文化・産業の再興に向けた挑戦の軌跡等に係る展示等。
計	337,880	

## 19 平成29年度の主な活動

29. 4. 27 京都府立京都学・歴彩館グランドオープン記念シンポジウム「京都の文化-京都学・歴彩館からの発信-」 開催  
開館記念展示「京都の歴史を彩る-近代の暮らし・楽しみ-」（～ 7. 9）
29. 4. 28 京都学・歴彩館 グランドオープン
29. 5. 25 図書館・読書施設等職員初任者研修
29. 5. 30 京都を学ぶセミナー「洛北編」第4回開催
29. 6. 2 京都府図書館等連絡協議会（以下「京図連協」）第1回相互協力委員会

29. 6. 8 全国公文書館長会議(東京都) (～ 6. 9)  
京図連協第1回広報委員会
29. 6. 11 京都府立京都学・歴彩館開館記念展示関連シンポジウム「京都の歴史を彩る  
―幕末から明治へ」開催
29. 6. 14 京図連協第1回研修研究委員会
29. 6. 21 レファレンス協同データベース事業担当者研修会
29. 6. 27 京都を学ぶセミナー「洛北編」第5回開催
29. 6. 29 国立国会図書館長と都道府県立及び政令指定図市立図書館長との懇談会(東京都)  
全史料協近畿部会総会
29. 6. 30 全国公共図書館協議会総会・例会(東京都)
29. 7. 7 第1回図書館・読書施設等職員レファレンス研修(初級)
29. 7. 13 行政文書重文簿冊修理事業監督指導
29. 7. 18 京都を学ぶセミナー「洛北編」第6回開催
29. 7. 22 開館記念展示「京都の歴史を彩る人々―近代編―」(～10. 8)  
資料紹介コーナー「京都の歴史を彩る人々」(～10. 10)
29. 8. 1 京都学・歴彩館駐車場 運用開始
29. 8. 27 館外講座「戦前にみる乙訓の鉄道計画」
29. 8. 29 図書館実習生受入(同志社大学) (～ 9. 1)
29. 9. 1 館外講座「京都の写真家 黒川翠山生誕150年」
29. 9. 8 京都府立大学所蔵の吉田初三郎「京都名所大鳥瞰図」を京都学ラウンジで  
展示開始
29. 9. 9 京都を学ぶセミナー「洛北編」第7回開催
29. 9. 13 図書館・読書施設等職員レファレンス研修(初級)
29. 10. 12 資料紹介コーナー「池大雅」(～12. 12)
29. 10. 14 開館記念展示「池大雅展」(～12. 10)
29. 10. 24 京都を学ぶセミナー「洛北編」第8回開催
29. 10. 26 東寺百合文書データミーティング
29. 10. 31 館外講座「新京阪山科線・京阪六地蔵線～行政文書から探る戦前の鉄道計画」
29. 11. 6 ほっとスペースにてパン販売開始
29. 11. 9 全史料協全国大会(神奈川県) (～11. 10)
29. 11. 13 アーカイブカレッジ短期コース(～18)
29. 11. 20 行政文書重文簿冊修理事業監督指導
29. 11. 21 京都を学ぶセミナー「洛北編」第9回開催
29. 11. 23 館外講座「行政文書から探る昭和初期の鉄道計画～久御山町域を中心として～」
29. 11. 26 寺子屋講座「京都の歴史を歩こう!～五条界限編～」
29. 11. 26 第1回禁裏・公家文化講座第1講開催
29. 11. 29 第2回図書館・読書施設等職員レファレンス研修(初級)
29. 12. 1 これからの学術情報システムに関する意見交換会

29. 12. 6 古文書ヨル学会
29. 12. 9 東寺文書研究会（～10）
29. 12. 12 資料に親しむ会「京菓子図案帖に親しむー京菓子図案と小西大東ー」
29. 12. 13 京図連協第2回広報委員会
29. 12. 14 資料紹介コーナー「京の四季風景」（～30. 3. 13）
29. 12. 16 開館記念展示「京の四季風景」（～30. 3. 13）
29. 12. 19 京都を学ぶセミナー「洛北編」第10回開催
29. 12. 20 古文書ヨル学会
30. 1. 5 資料紹介コーナー「『明治150年』関連資料の紹介」（～4. 10）
30. 1. 15 海外若手研究員「京都学研究員」受入開始
30. 1. 16 資料に親しむ会「小袖雛形本に親しむ」
30. 1. 17 古文書ヨル学会
30. 1. 21 第1回禁裏・公家文化講座第2講開催
30. 1. 28 明治150年記念リレー講座第1回「京都の文化再興」開催
30. 2. 1 資料紹介コーナー「海外若手研究員受入事業府民向けセミナー 花園天皇・朝ドラ・京都大学・地図皿」（～3. 13）  
京都資料総合閲覧室前パネル掲示「海外若手研究員受入事業府民向けセミナー関連掲示」（～3. 13）
30. 2. 2 資料紹介コーナー「天橋立」（～3. 13）
30. 2. 7 古文書ヨル学会
30. 2. 8 図書館地区別研修（近畿地区）（兵庫県）
30. 2. 11 明治150年記念リレー講座第2回「京都の産業再興」開催
30. 2. 13 資料に親しむ会「吉田初三郎鳥瞰図に親しむ ぶらり伊勢編」
30. 2. 16 海外若手研究員受入事業府民向けセミナー開催
30. 2. 22 行政文書重文簿冊修理事業監督指導
30. 2. 27 周山書庫からの行政文書の移動（第1回）
30. 2. 28 京図連協相互協力実務担当者会議
30. 3. 3 地域史シンポジウム「丹波のくらしと蚕糸」
30. 3. 4 明治150年記念リレー講座第3回「学問の都、京都」開催
30. 3. 5 国際ワークショップ「日本の古地図ポータルサイト」
30. 3. 7 古文書ヨル学会
30. 3. 9 海外若手研究員受入事業府民向けセミナー開催
30. 3. 10 全史料協近畿部会第144回例会
30. 3. 11 第1回禁裏・公家文化講座第3講
30. 3. 13 資料に親しむ会「古写真に親しむ～黒川翠山撮影写真資料を中心に～」
30. 3. 27 資料に親しむ会「閲覧室に親しむ 歴彩館に来て、本を見て、触って、POPを作って紹介しよう！」  
周山書庫からの行政文書の移動（第2回）

## 20 沿革

### 【総合資料館】

- 昭和 34. 34 年度予算に調査・準備費を計上
35. 6. 6 「建設のための懇話会」を設置
36. 12. 8 起工式
37. 11. 10 定礎式
38. 10. 28 設置条例制定・施行（京都市立総合資料館条例・昭和 38 年条例第 29 号）
38. 11. 15 開館式及び祝賀会を挙。翌 16 日から閲覧業務等開始（庶務部に庶務係・  
経理係、資料部に展示係・資料係、図書部に収書係・目録係・閲覧第一  
係・閲覧第二係・閲覧第三係を置く。3 部 9 係）
39. 2. 21 文献資料の複写業務を開始
39. 4. 1 機構改革（係を課とし、3 部 9 課）
39. 11. 14 「京都市立総合資料館友の会」発足
40. 4 京都市開庁 100 年を記念して京都市百年史を編さんすることとなり、事  
業を開始
41. 6 民謡調査を開始
42. 8. 11 「東寺百合文書」を受入れ、整理・補修業務を開始
43. 4. 23 京都市百年史編さん事業の本格化に伴い百年史編さん室を設置（3 部 1  
室 9 課）
43. 11 昔話調査を開始
45. 4 『京都新聞』（明治 18 年～昭和 44 年）のマイクロフィルム作成事業を開始
45. 8. 6 「古文書講習会」を開始
45. 8. 11 「東寺百合文書」及びその他の古文書の整理・保存事業を進めるため資  
料部に古文書課を設置するとともに、組織を再編（庶務部に庶務課、資  
料部に資料課・古文書課、図書部に整理課・閲覧課、百年史編さん室の  
3 部 1 室 5 課）
45. 9. 22 「館蔵品陳列場」（現・2 階展示室）を開設
45. 12 資料の寄託制度を開始
46. 1. 1 『資料館だより』創刊
46. 6 新聞マイクロフィルム版等の閲覧・複写業務を開始
46. 7. 15 第 2 収蔵庫完成（鉄筋コンクリート 2 階建 延 274. 76 m<sup>2</sup>）
46. 7 『公開特許公報』『公開実用新案公報』の閲覧業務を開始
47. 3. 31 『資料館紀要』創刊
47. 6. 1 京都市百年史編さん事業完了のため、百年史編さん室を廃止。同時に、  
当館に移管されることになった京都市庁文書を中心に関係資料を収集・  
整理するため、資料部に行政文書課を設置（3 部 6 課）

48. 3. 30 第3収蔵庫完成（鉄筋コンクリート2階建、恒温恒湿設備、延 1702.18 m<sup>2</sup>）
48. 6. 16 部制を廃止し、次長を置く。また、組織も6課に再編するとともに、各課に資料主任を置く。（庶務課（庶務係、経理係）、文献第一課、文献第二課、文化資料課、古文書課、行政文書課の6課2係）
- 48.11.15 開館10周年・新収蔵庫竣工記念式典を開催
- 48.12 東寺観智院金剛蔵聖教調査を開始
49. 4 有形民俗資料調査を開始
49. 8 教科書を収集
51. 1 「京の百景」を受入れ
51. 5. 26 組織を整理・統合（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、文化資料課、歴史資料課の4課2係）
51. 1 視覚障害者・身体障害者のため、玄関スロープ設置等の施設整備に着手
52. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
52. 4 古文書の公開を開始
52. 1 古文書所在情報調査を開始
53. 3 府内市町村行政文書の保存状況調査を開始
55. 1 「東寺百合文書」の公開を開始
55. 4 「東寺百合文書」のマイクロ化事業を開始
55. 6. 6 「東寺百合文書」が重要文化財に指定される
56. 4 近世文書マイクロ写真版の閲覧を開始
56. 6. 9 「東寺観智院伝来文書典籍類」が重要文化財に指定される
56. 9. 10 第1回「古文書教室」を開催
57. 4 古文書センター推進事業に着手
57. 7. 4 大閲覧室、軽読書室、学習室、文書閲覧室の日曜日開室を実施し、毎月20日を休室日とする。
58. 4 「東寺百合文書」の第2次修理を開始
58. 4. 19 「軽読書室」を閉鎖
58. 5. 18 「京都府行政情報資料センター」を開設  
大閲覧室内に「軽読書コーナー」を設置
- 58.10.14 開館20周年記念式典を開催。翌15日に記念講演会を開催
59. 4. 1 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会に加入
59. 4. 14 「葦嶋家文書」及び「袈裟禪文銅鐸」が京都府指定文化財に指定される
60. 5. 16 府内市町村図書館等を窓口とする館蔵図書のコピー受付業務を開始
61. 7. 1 国立国会図書館所蔵図書の閲覧利用サービスを開始
62. 5. 12 「古文書相談」を開始

63. 3. 29 美術工芸・歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を京都府京都文化博物館（昭和 63 年 10 月開館）を運営する財団法人京都文化財団に委託するため、総合資料館条例一部改正条例（昭和 63 年条例第 3 号）を制定公布
63. 4. 14 ブック・ディテクション・システム（図書持出防止装置）を設置
63. 4. 18 文化資料課を廃止（庶務課（庶務係、経理係）、文献課、歴史資料課の 3 課 2 係）  
美術工芸、歴史民俗等の現物資料の収集、保存及び展示業務を財団法人京都文化財団に委託
63. 9. 30 京都府京都文化博物館の開館に伴い、「展示室」を廃止  
「京都府行政情報資料センター」を廃止
63. 10. 1 京都府情報公開条例の施行に伴い、「府政情報コーナー」を設置  
平成元. 4 貴重書のマイクロフィルム作成事業を開始  
廃止した展示室の書庫・文書庫への改修など収蔵施設の整備を実施
- 元. 10. 20 第 1 回「文化講座」を開催
2. 10. 8 古文書のマイクロフィルム公開を開始
3. 5 明治期京都府庁文書（永年文書）の緊急補修事業を開始
4. 4. 1 日本図書館協会に再加入
4. 7. 1 京都府図書館等連絡協議会に加盟する図書館等との資料貸借業務を開始
5. 4. 1 定例休館日を毎月 20 日から毎月第 2 水曜日に変更
5. 5. 20 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会に設立加入
5. 11. 7 開館 30 周年記念事業「北山まつり」を開催
6. 6. 4 「特別資料室」を開設し、吉田文庫を公開
9. 4 京都府立図書館の貴重書デジタル画像作成に資料提供
9. 6. 30 「東寺百合文書」が国宝に指定される
10. 3. 31 「京都府知的所有権センター」の開設により、「特許資料室」を閉鎖
10. 12 閲覧可能な古文書の所在情報調査を開始
11. 4 京都府 20 世紀歴史資料保存事業を開始
12. 4 京都府 20 世紀資料整理事業を開始
12. 9. 30 「特別資料室」を閉鎖
12. 10. 1 京都府立図書館への図書資料の一部移管作業、館内施設整備等のため、大閲覧室及び学習室を休室
12. 12. 28 文書閲覧室を含め全館休館
13. 3. 23 「京都府行政文書」が府指定有形文化財に指定される

13. 5. 11 京都府立図書館の新築開館に合わせ、当館も再開館（大閲覧室を図書閲覧室に名称変更、文書閲覧室を4階から3階へ移設、図書検索・貴重書画像閲覧の端末設置、木曜講座の開催等）
13. 7. 2 京都府図書館総合目録ネットワークシステムによる相互貸借を開始
13. 10. 9 国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
14. 5. 23 「総合資料館府民講座」を開始
14. 6. 26 「京都府行政文書」が重要文化財に指定される
14. 7. 19 ホームページを開設
14. 11. 26 「古文書解説講座」を開始
14. 12 「京の文化振興プラン（その1）－京都府が所蔵・保管する貴重な資料の活用方策－」策定
15. 5. 29 「革嶋家文書」が重要文化財に指定される
15. 11. 15 開館40周年を迎える
16. 3. 25 東寺百合文書翻刻史料集第1巻を刊行。記念シンポジウムを開催
16. 4. 1 「総合資料館所蔵資料データベース ー京都北山アーカイブズー」の公開開始
19. 12 総合資料館あり方検討プラン策定
21. 1 総合資料館基本構想（案）取りまとめ
21. 3. 24 古久保家文書が府指定有形文化財に指定
21. 3. 27 府立大学、府立植物園、府立総合資料館の3機関が包括協定を締結
21. 8. 25 「古文書入門教室」を開始
21. 9. 10 「歴史資料カレッジ」を開始
21. 10 北山文化環境ゾーン整備推進委員会による「北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告」公表
21. 10. 17 植物園、府立大学と共同で包括協定締結記念事業「北山から未来へ」を開催  
~11. 26
22. 5 「北山文化環境ゾーン整備委員会における検討状況」公表
23. 7. 1 画像データ閲覧システム「京の記憶ライブラリ」を公開
23. 7. 22 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技第1次審査の結果公表
23. 10. 14 京都府新総合資料館（仮称）公募型設計競技の結果公表
23. 11. 16 新資料館設計協議結果展  
~22
24. 5. 16 国際京都学センターの開設準備のための府立大学と総合資料館の共同研究（ACTR）を開始
24. 10. 2 国際京都学センターの開設に向けて「京都学へのいざない講座」を開始

- 24. 12 新総合資料館（仮称）建築工事の実施設計を策定
- 25. 5. 21 館所蔵の国宝「東寺百合文書」がユネスコ記憶遺産の登録候補として日本ユネスコ国内委員会から推薦決定
- 25. 7. 4 新総合資料館（仮称）建築工事契約・着工
- 25. 11. 15 開館 50 周年を迎える
- 25. 11. 16 開館 50 周年記念シンポジウムを開催
- 26. 3. 3 「東寺百合文書WEB」公開開始
- 26. 3 日本ユネスコ国内委員会から記憶遺産登録に向けての推薦書をユネスコへ提出
- 26. 6. 12 「東寺百合文書」が日本ユネスコ国内委員会より世界記憶遺産登録候補として選定
- 26. 11. 7 Library of the Year 2014 大賞受賞
- 27. 10. 10 「東寺百合文書」がユネスコ世界記憶遺産に登録
- 27. 11. 10 「京の記憶アーカイブ」公開開始
- 27. 11. 12 「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」開始
- 28. 7. 8 京都府新総合資料館（仮称）棟 引渡
- 28. 9. 13 京都府立総合資料館 閉館

### 【京都学・歴彩館】

- 28. 12. 1 京都府立京都学・歴彩館 条例施行
- 28. 12. 23 京都府立京都学・歴彩館 一部オープン
- 29. 4. 28 京都府立京都学・歴彩館 グランドオープン
- 29. 12～ 京都学・歴彩館への文学部移転



## 2 1 京都学・歴彩館の設置に向けたこれまでの取組(経過)

府立総合資料館は、京都に関する歴史、文化、産業、生活等の諸資料を総合的に収集し、これを整理・保存して、閲覧に供し、又は展示することにより、府民の調査研究等に一般に供することを目的として、昭和38(1963)年に設置されました。

平成19(2007)年以降、施設の老朽化、総合資料館の機能や取り巻く環境の変化等を踏まえ、より一層府民の皆様のご期待に応えうる施設となるよう、館の果たすべき役割・機能のあり方を見据えながら、次のとおり、新たな施設整備を進めて参りました。

府立総合資料館は、平成28年9月をもって閉館し、平成28年12月に府立京都学・歴彩館として、生まれ変わりました。

### ◆ 「総合資料館あり方検討プラン」(平成19年度策定)の概要

#### ○ 新たな総合資料館の基本コンセプト

「京都に関する資料を収集・保存・提供する施設」として、京都と日本の学術・文化の振興に貢献するとともに、だれもが身近に利用できる施設として府民ニーズに応える。

#### ○ 基本コンセプト実現のために担うべき5つの役割

- ① 京都に関する歴史・文化関係資料の収集・保存とデータベースの構築
- ② 京都に関する専門研究の振興
- ③ 生涯学習等の支援
- ④ 次世代の教育支援
- ⑤ ネットワーク機能の強化

#### ○ 新たな施設整備

府立大学をはじめとする大学等の研究機関や周辺施設等と連携しながら、所蔵資料の価値を最大限府民に還元できるよう、北山地域において新たな施設整備を図る。

### ◆ 「総合資料館基本構想」(平成20年度策定)の概要

#### ○ 基本方針

- ① 京都に関する過去・現在について調べることのできる施設として、創設以来蓄積してきたノウハウを十分に発揮し、京都に関する資料を的確に収集・保存し、後世に確実に継承するとともに、引き続き、収集・整理・提供に努める。
- ② 新資料館の基本姿勢、性格を明確にするため、収集・保存・提供に関するガイドラインを策定し、公表する。

#### ○ 重点事項

- ① 京都に関する資料の収集・保存と積極的活用
- ② 公文書館機能の充実
- ③ 研究・学習・教育支援とネットワーク機能の強化
- ④ 北山地域のなかの総合資料館

○ その他検討を要する課題

① 効率・効果的な運営

- ・開館日、開館時間、資料提供方法等の検討を進め、公表
- ・外部評価機関による評価・指導や協働・協力組織の育成

② 設置根拠等の整備

- ・新資料館設置条例、組織体制、名称・愛称

◆ 北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告(平成21年度策定)の概要

北山地域が、府民が憩いやすらぐ場として、また、文化・環境・学術の交流発信拠点となるよう、将来像の基本的方向性『街区構想』を描く。

△ 街づくりのコンセプト

- 文化と環境に包まれたやすらぎと交流のなかで、京都を世界に発信する街
- 開放感あふれ、歩いてまわりたくなる街

△ 機能を整える視点(北山地域のエリアイメージ)

38ヘクタールもの広大な地域を、交通や人の流れ、周辺環境等を総合的に考慮し、次の5つのエリアに分け、そのイメージに沿った街づくりを進めることで、地域のポテンシャルを最大限に引き出す。

- 感じる(文化) …………… 主として北山通から近い地域
- 学ぶ(学術) …………… 主として北山通から遠い地域
- やすらぐ(環境) …………… 主として植物園地域
- 憩う(親水) …………… 主として賀茂川沿い地域
- ふれあう(交流) …………… 主として北山通沿い地域

△ 総合資料館と府立大学とが連携する新施設の整備の方向性

新資料館については、府立大学等との連携を格段に強化するとともに、「北山文化環境ゾーン整備推進」全体の観点から府立大学施設の一部との合同整備を進める。

- 新施設(新資料館、府立大学文学部研究室・附属図書館等)は、京都の歴史・文化に関する資料を収集・保存・調査・研究するとともに、広く一般に提供し、その調査・研究や学びを支援し、国内外に情報を発信する拠点とする。

① 「国際京都学センター」(資料館内)を設置し、全国的・国際的交流と情報発信の拠点とする。

<国際京都学センター>

- ・高度な「京都学」の構築・研究のコーディネーター
- ・京都研究の啓発・普及・支援活動の拠点
- ・センター設置に不可欠な総合資料館と府立大学(文学部研究室・附属図書館)の合同整備

② 連携強化による他の新たな機能の発揮

- ・府立大学との連携強化により、双方の資料等の一層広範で利便性に富む府民

#### 提供方法の開発

- ・ 京都調査・研究に関するレファレンスの積極的展開
- ・ 府民との一層多様な研究・学習交流の場の提供
- ・ 双方の特性を活かした院生や学生対象の各種教育プログラムの共同開発と社会人への提供等

#### ③ 新総合資料館の新たな機能の展開

- ・ 資料館「基本構想」で提案された4機能の基本方向の具体化と体制整備
- ・ 府立大学、府立植物園等との連携の具体化
- ・ 府立の図書館、郷土資料館等関係機関との連携の推進方策を具体化（可能なものから実施）

#### ◆ 北山文化環境ゾーン整備委員会検討結果(平成21年度)概要

##### △ 新施設(新総合資料館、府立大学文学部・附属図書館の合同(1施設)整備)

- 「国際京都学センター」の設置による全国的・国際的交流と情報発信
  - ・ 京都に係る「知」の更なる深化(共同研究の推進)
  - ・ 京都しらべ・学習環境の充実・強化
- 総合資料館・府立大学文学部・附属図書館連携による機能・府民サービス向上
  - ・ 京都関係資料の収集・保存・提供、研究・学習・教育の充実・拡大
  - ・ 閲覧ワンフロア化と利用期間・時間拡大による府民サービスの向上
  - ・ 府民等の知的関心・活動への支援強化
  - ・ 施設規模 24,000㎡程度
- 3大学(府立医大、府立大、京都工芸繊維大)教養教育共同化施設
  - ・ 3大学教養教育共同カリキュラム、3大学連携研究・ゼミ等の実施・学生等の交流
  - ・ 医科大学医学科・看護学科の教養教育の機能移転(研究室、実習室、講義室等)
  - ・ 施設規模 9,000㎡程度

#### ◆ 新たな施設整備に向けた対応(平成22年度)概要

- 公募型設計競技の実施に向けた「新総合資料館(仮称)設計競技要項・設計条件(案)」の作成
  - ・ 新館は、「国際京都学センター」、府立大学文学部・附属図書館との複合施設
  - ・ 閲覧ワンフロア化をはじめとする諸形態・設計条件等について本庁・府立大学と調整
- 国際京都学センター設立準備委員会設立協議(本庁・府立大学との共同)
  - ・ 同センターのコンセプト、機能、体制等の検討
- 「京の記憶ライブラリ」の構築
  - ・ 総務省交付金を活用し、「京の記憶ライブラリ」システムの構築と東寺百合文書をはじめ約10,000点の資料をデジタル化した上で、従来の「京都北山アーカイブズ」を加え、「知デジ京都」としてリニューアル

※「京の記憶ライブラリ」：キーワード、カテゴリ検索により画像等を検索・表示・印刷するシステム（23.4.1～館内運用、23.7.1～インターネット配信）

◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成23年度）概要

- 建築設計コンペ、基本設計、埋蔵文化財調査実施
- 設計業者との協議（本庁、府立大学との共同）  
館内にハード検討チームを設置し、公募型設計協議により決定された設計業者と新資料館、国際京都学センターに係る平面プランについての協議を行った。
  - ① 新資料館部門：閲覧、展示、収蔵等の各施設の基本構造及び設備
  - ② 国際京都学センター部門：京都学ラウンジ、講堂、セミナー室等の基本構造及び設備
- 国際京都学センター設立準備に係る協議（本庁、府立大学との共同）
  - ・同センターのコンセプト、機能、体制等の検討
  - ・キックオフ事業の検討・予算化（国際シンポジウム、研究プロジェクト）
- 統合データベース構築に係る検討・協議
  - ・京都の歴史・文化に関する発信拠点となるべく、館蔵資料（60万点）の管理・検索・閲覧できるシステムの構築に向けた検討・予算化
- 所蔵資料に係る目録の電子データ化
  - ・緊急雇用対策事業を活用し、準貴重書、行政文書、古文書の電子目録を作成

◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成24年度）概要

- 基本・実施設計、埋蔵文化財調査実施
- 設計業者との協議（本庁、府立大学との共同）
  - ・前年度から引き続き館内にハード検討チームを設置し、設計業者と新資料館、国際京都学センターに係る平面プランについての協議を行った。
- 文化庁との協議
  - ・文化財保護法第53条第1項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等について文化庁と協議を行い、収蔵庫及び展示室等について実施設計の一部見直しを実施した。
- 統合データベース構築に係る仕様書の作成
  - ・館蔵資料の管理・検索・閲覧できるシステムの構築に向けた仕様書を作成
- 所蔵資料に係る電子データ化
  - ・東寺百合文書のデジタル画像（5,494点、22,988コマ）を作成
  - ・緊急雇用対策事業を活用し、準貴重書、行政文書、古文書の電子目録を作成

◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成25年度）概要

- 本体建築工事着工
- 設計・機械・設備業者との協議（本庁、府立大学との共同）
  - ・設計・機械・設備業者と新資料館、国際京都学センターに係る施工図面について

の協議を行った。

- 文化庁との協議
  - ・文化財保護法第53条第1項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等について文化庁と協議を行い、収蔵庫及び展示室等について実施設計の一部見直しを実施した。
- 統合情報システム構築に係る仕様書の作成
  - ・館蔵資料の管理・検索・閲覧できるシステムの構築に向け、情報提供依頼（RFID）を行い、仕様書に反映
  - ・ユネスコ世界記憶の登録に向け、東寺百合文書Web公開システムを構築し、約44,000画像をインターネットで公開
- 所蔵資料に係る電子データ化
  - ・東寺百合文書のデジタル画像（13,210点、58,139コマ）を作成
  - ・緊急雇用対策事業を活用し、準貴重書、行政文書、古文書の電子目録や地方新聞等のデジタル画像を作成

#### ◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成26年度）概要

- 本体建築工事実施（掘削、躯体工事）
- 設計・機械・設備業者との協議（本庁、府立大学との共同）
  - ・設計・機械・設備業者と新資料館、国際京都学センターに係る施工についての協議を行った。
- 文化庁との協議
  - ・文化財保護法第53条第1項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等について文化庁と協議を行い、収蔵庫及び展示室等について協議を行った。
- 所蔵資料に係る電子データ化
  - ・東寺百合文書WEBにデジタル画像を全点公開
- 「京都の記憶遺産デジタルアーカイブ事業」の開始
  - ・古文書、行政文書、地図、写真資料、貴重書等のデジタル画像を作成
- 統合情報システムの構築
  - ・京都府立大学、京都府立医科大学と、共用の図書システムを構築、運用開始
  - ・古文書・博物系・行政文書システム及び統合検索システムの構築

#### ◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成27年度）概要

- 本体建築工事実施（躯体工事、内装工事、外構工事）
- 文化庁との協議
  - ・文化財保護法第53条第1項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等を確認するため収蔵庫及び展示室等について文化庁と協議を行った。
- 所蔵資料に係る電子データ化

- 古文書・博物系・行政文書システム及び統合検索システムの構築、運用開始
- 「京の記憶アーカイブ」の公開
  - ・古文書、行政文書、写真資料、貴重書等のデジタル画像をはじめ、様々なコンテンツの公開
  - ・公開デジタル画像の CC-BY による提供の開始
- UHF 帯 IC タグによる資料管理体制の整備

◆ 新たな施設整備に向けた取組（平成 28 年度）概要

- 本体建築工事完成（躯体工事、内装工事）
- 設備工事等実施（電動式集密書架等収蔵設備、展示音響設備、ブラインド等設置、大ホール椅子等）
- 文化庁との協議
  - ・文化財保護法第 53 条第 1 項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等を確認するため収蔵庫及び展示室等について文化庁と協議を行った。
- 所蔵資料に係る電子データ化
- 「京の記憶アーカイブ」の公開・推進
- UHF 帯 IC タグによる資料管理体制の整備

◆ グランドオープン後の取組（平成 29 年度）概要

- 文化庁との協議
  - ・文化財保護法第 53 条第 1 項ただし書の規定に基づく公開承認施設として必要な要件等を確認するため収蔵庫及び展示室等について文化庁と協議を行った。
- 所蔵資料に係る電子データ化
- 「京の記憶アーカイブ」の公開・推進
- 外構工事・内装工事（補修）
- 駐車場・駐輪場整備
- 花時計設置（国際ソロプチミスト寄贈）

(参考資料)

館蔵資料の国宝等指定一覧（平成30年3月31日現在）

No.	種別	資料名	点数等	概要
1	国宝 (平9.6.30 指定)	東寺百合文書	※ 18,646点	京都市南区の東寺（教王護国寺）に伝えられた文書で、奈良時代から江戸時代初期に至る約1,000年間の文書群です。 内容は宗教活動、寺院経済、荘園経営など中世史研究等の基本資料で、昭和42年、文化財保護を目的に京都府が購入しました。
	ユネスコ 「世界の記憶」 (平27.10.10 登録)			
2	重要文化財 (昭56.6.9 指定)	東寺観智院伝来 文書典籍類	57点	東寺の子院である観智院の金剛蔵に伝わった中世資料で、東寺百合文書同様、貴重な学術資料です。なお、本典籍類は同文書と同時に購入しました。
3	重要文化財 (平14.6.26 指定)	京都府行政文書	15,407点	京都府が行政を行うために管理保存してきた京都府の公文書のうち、京都府立庁前年の慶応3(1867)年から昭和21年度までの文書で、近代の政治、歴史、文化を知り得る貴重な資料です。
4	重要文化財 (平15.5.29 指定)	革嶋家文書	2,459通	京都市西京区川島の革嶋家に伝来した文書で、昭和49年、故革嶋廉三郎氏から寄贈されたものです。鎌倉時代から大正年間の約800年に及ぶ文書群で、革嶋家の歴史を物語るものです。
5	重要文化財 (昭43.4.25 指定)	池 大雅 「柳下童子図 屏風」	1点	江戸時代の画家で、日本の文人画の大成者・池大雅が描いた屏風絵です。平成7年、財団法人池大雅美術館（佐々木もと子館長）から京都府に寄贈された73件、85点に及ぶ大雅の絵画、書跡、関係資料のうちの1点です。
6	府指定有形 文化財 (昭59.4.14 指定)	袈裟禪文銅鐸	4口	昭和38年に、京都市右京区梅ヶ畑の宅地造成工事現場から発見された銅鐸で、昭和42年に京都府の所蔵になりました。型式の古さ、「入れ子」の状態での発見、同範鐸の存在など、学術的価値の高いものです。
7	府指定有形 文化財 (平21.3.24 指定)	古久保家文書	266点	寛文8(1668)年以来、代々上京下西陣組の町代を勤めた古久保家に伝わった古文書です。町代は江戸幕府の京都町奉行所と京都市中の町との間の諸事務を勤めました。御触留、町代の公事番所勤番日記等があります。

※東寺百合文書：18,705点のうち、国宝が18,646点、重要文化財が57点（東寺観智院伝来文書典籍類）、未指定が2点。





